



## IPSiO SP3510SF

### 操作ガイド 〈ファクス機能編〉



紙の使用説明書にない情報は  
画面で見る使用説明書(付属の  
CD-ROMに収録)をご覧ください。














- 
- 1 はじめにお読みください
  - 2 ファクスを使う前に
  - 3 ファクス機能を使う
  - 4 パソコンからファクス機能を活用する (PCファクス)
  - 5 操作部でファクスの設定をする
  - 6 Web Image Monitorを使ってファクスの設定をする
  - 7 困ったときには
  - 8 付録



---

## 本機に同梱されている使用説明書

安全上のご注意 . . . . .	 
かんたんセットアップ . . . . .	 
フォルダー送信設定ガイド . . . . .	 
操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>. . . . .	
操作ガイド<ファクス機能編> (本書) . . . . .	 
クイックガイド . . . . .	 

# 目次

## 1. はじめにお読みください

はじめに.....	7
正しくお使いいただくために.....	7
リサイクル部品について.....	7
複製、印刷が禁止されているもの.....	7
おことわり.....	8
使用説明書について.....	9
使用説明書の分冊構成.....	9
使用説明書一覧表.....	10
マークについて.....	10
本書についてのご注意.....	11
IPアドレスについて.....	11
おもなオプションと略称.....	11
やりたいこと目次.....	13
本機をファクス専用機として使いたい.....	13
外付け電話機を接続して使いたい.....	14
パソコンからファクスを送信したい（PC ファクス）.....	14
受信したファクスを転送したい.....	15
インターネットファクスを送受信したい.....	16
操作部の名称とはたらき.....	18

## 2. ファクスを使う前に

ファクス設定の流れ.....	21
回線種別の確認方法.....	22
受信モードの確認方法.....	23
設定項目を確認する.....	24
電話回線に接続する.....	26
ADSL 環境に接続する場合.....	26
ISDN 環境に接続する場合.....	27
ひかり電話環境に接続する場合.....	28
内線電話環境に接続する場合.....	29
電話回線の種別を選択する.....	30
電話回線への接続方法を選択する.....	32
外線発信番号を設定する.....	34

---

日時を設定する.....	35
受信モードを選択する.....	37
発信元情報を登録する.....	39
PC ファクスドライバーをインストールする.....	41
PC ファクスドライバー（TCP/IP ポートを使用する）.....	41
PC ファクスドライバー（USB ポートを使用する）.....	42
オプションを取り付ける.....	44
ハンドセットを取り付ける.....	44
ハンドセットを接続する.....	44
ハンドセットを設定する.....	46

### 3. ファクス機能を使う

---

ファクスモード画面.....	49
ファクスのあて先を登録する.....	51
操作部であて先を登録する.....	51
あて先を修正する.....	53
あて先を削除する.....	54
Web Image Monitor であて先を登録する.....	55
あて先を修正する.....	56
あて先を削除する.....	57
ファクスを送信する.....	58
送信モードを選択する.....	58
インターネットファクス使用上のご注意.....	59
基本的なファクスの送りかた.....	60
送信をキャンセルする.....	62
あて先を指定する.....	63
ワンタッチキーであて先を指定する.....	64
短縮ダイヤルであて先を指定する.....	64
LDAP サーバーからあて先を指定する.....	66
同報送信のあて先を指定する.....	67
リダイヤル機能であて先を指定する.....	68
便利な送信方法.....	69
読み取り方法を設定する.....	71
濃度を調整する.....	71

解像度を設定する.....	72
原稿の読み取り面を指定する.....	73
ファクスを受信する.....	75
FAX/TEL（手動）モードでファクスを受信する.....	75
ファクス専用モードでファクスを受信する.....	75
FAX/TEL（自動）モードでファクスを受信する.....	76
FAX/留守番 TEL モードでファクスを受信する.....	77
電話/ファクスを切り替える.....	77
インターネットファクスを受信する.....	78
受信したファクスを転送する.....	79
受信したファクスを一時的に蓄積する.....	81
受信文書印刷設定を切り替える.....	82
特定の相手先からのファクスを制限する.....	84
特定相手先を登録する.....	84
特定相手先からのファクスを制限する.....	85
電源断レポートが印刷されたとき.....	87

#### 4. パソコンからファクス機能を活用する（PC ファクス）

PC ファクスのアドレス帳を設定する.....	89
PC ファクスのアドレス帳を開く.....	89
あて先を登録する.....	90
あて先を修正する.....	92
グループを登録する.....	92
グループを修正する.....	93
あて先やグループを削除する.....	93
PC ファクスのアドレス帳をエクスポート/インポートする.....	94
基本的な PC ファクスの送り方.....	97
送信をキャンセルする.....	99
PC ファクスの送付状を編集する.....	100
PC ファクス送付状で設定できる項目.....	100
PC ファクスの送信設定を変更する.....	103
PC ファクスの送信設定で設定できる項目.....	103

#### 5. 操作部でファクスの設定をする

操作部で設定できる機能.....	105
------------------	-----

---

ファクス送信の設定.....	106
ファクス送信の設定を変更する.....	106
ファクス送信設定の項目.....	107
ファクス機能初期設定.....	110
ファクス初期設定を変更する.....	110
ファクス初期設定項目.....	111
ファクスアドレス帳の設定.....	118
ファクスのワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録する.....	118
ファクスアドレス帳の設定項目.....	118
リスト/レポートの印刷.....	120
リスト/レポートの種類.....	120
ファクス通信管理レポートを印刷する.....	121
ファクス通信管理レポートの見かた.....	121
ファクス送信/受信待機文書リストの見かた.....	123

## **6. Web Image Monitor を使ってファクスの設定をする**

---

Web Image Monitor を使う.....	125
トップページを表示する.....	126
ファクスの設定をする.....	128
あて先を登録する.....	131
特定相手先を登録する.....	132
POP3 の設定をする.....	133
インターネットファクスの設定をする.....	134
日時を設定する.....	136

## **7. 困ったときには**

---

思い通りにファクス機能が使えないとき.....	137
ファクス通信管理レポート/送信結果レポートにエラーコードが記載された場合.....	137
その他の問題が発生した場合.....	141

## **8. 付録**

---

ファクス機能仕様.....	143
ファクス送受信.....	143
インターネットファクス送受信.....	143
FASEC1 について.....	144
商標.....	145



索引.....147



# 1. はじめにお読みください

本マニュアルの使い方や表記、本機の各部の名称とはたらきについて説明します。

## はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社 リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

## 正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

## リサイクル部品について

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

## 複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

### 1. 複製、印刷することが禁止されているもの

(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙
- (関係法律)
  - 紙幣類似証券取締法
  - 通貨及証券模造取締法
  - 郵便切手類模造等取締法

- 印紙等模造取締法
- (刑法 第 148 条 第 162 条)

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
- (関係法律)
  - 刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条
  - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

---

## おことわり



---




本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

# 使用説明書について

本機には、紙の使用説明書と画面で見る使用説明書（HTML 形式/PDF 形式）が用意されています。本書を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

画面で見る使用説明書は、付属の CD-ROMに収録されています。画面で見る使用説明書のインストール方法については、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』「パソコンに使用説明書をインストールする」を参照してください。

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じです。

## 使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

### 安全上のご注意（ ）

本機を安全にお使いいただくための注意事項を説明します。故障やけがを防ぐため、本機のご利用前に必ずお読みください。

### かんたんセットアップ（ ）

本機を箱から取り出し、基本操作が行えるまでの手順を説明しています。

### フォルダー送信設定ガイド（ ）

スキャナーのフォルダー送信機能をお使いいただくために必要なセットアップの手順と、基本的な操作方法を説明しています。

### 操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>（）

操作全般についての情報、および以下の内容を説明しています。

- オプションの取り付け
- 各種ドライバーのインストール手順
- 本機で使用できる用紙の情報
- プリンター、コピー、およびスキャナー機能の操作手順
- 本機の設定方法
- 本機の機能が思い通りに使えないときの対処方法、および紙づまりの処置
- 消耗品の交換手順
- Web Image Monitor を使って本機の状態を確認する方法
- 本機の保守点検に関する情報

### 操作ガイド<ファクス機能編>（ ）

ファクスを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

## クイックガイド (📖🔍)

困ったときの対処方法、およびコピー、スキャナー、ファクス送信の基本的な操作を説明しています。

### ↓ 補足

- HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧になれます。
- PDF 形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe® Acrobat® Reader®/Adobe Reader が必要です。

### 📖 参照

- 使用説明書の使いかたについては、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』🔍「使用説明書の使いかた」を参照してください。

## 使用説明書一覧表

分冊名	紙マニュアル 	画面で見る使用説明書 (HTML 形式のマニュアル) 	画面で見る使用説明書 (PDF 形式のマニュアル) 
安全上のご注意	有り	なし	有り
かんたんセットアップ	有り	なし	有り
フォルダー送信設定ガイド	有り	なし	有り
操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>	なし	有り	有り
操作ガイド<ファクス機能編>	有り	有り	有り
クイックガイド	有り	なし	有り

## マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

**★重要**

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

**↓補足**

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

**目参照**

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

## 本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

## IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されている場合は、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。

## おもなオプションと略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
250 枚増設トレイ 3400	250 枚増設トレイ
IPSiO ハンドセット C240	ハンドセット

↓ 補足

- 250 枚増設トレイが装着されている場合、本機では「トレイ 2」と表示されます。

# やりたいこと目次

本機をファクスとして使うために必要な手順の大きな流れを説明します。

## ★重要

- 機能によっては、あらかじめ設定やオプションの取り付けが必要です。

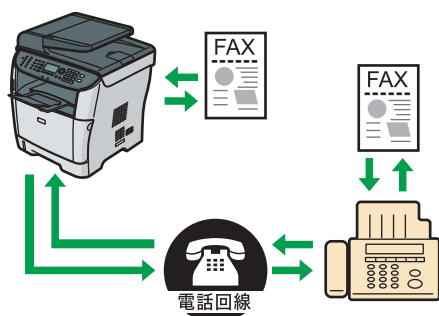
## ナンバーディスプレイについて

本機はナンバーディスプレイに対応していません。ナンバーディスプレイを契約している回線に本機を接続してファクス受信を行う場合は、[ファクス初期設定]の[ナンバーディスプレイ]を[契約している]に変更してください。

## 目 参照

- [ナンバーディスプレイ] について詳しくは、P.110「ファクス機能初期設定」を参照してください。

## 本機をファクス専用機として使いたい



CME201

## ファクス専用機として使うための準備

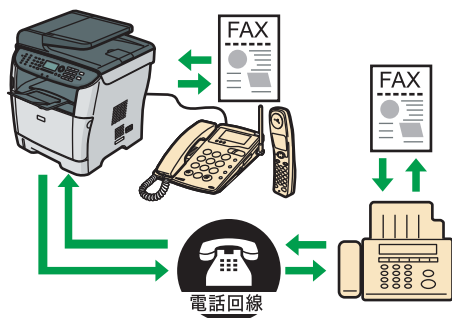
1. 本機と電話回線を接続します。  
詳しくは、P.26「電話回線に接続する」を参照してください。
2. 電話回線の設定をします。  
詳しくは、P.30「電話回線の種別を選択する」、P.32「電話回線への接続方法を選択する」を参照してください。
3. 日付と時刻を設定します。  
詳しくは、P.35「日時を設定する」を参照してください。
4. 操作部または Web Image Monitor からあて先をアドレス帳に登録します。  
詳しくは、P.51「ファクスのあて先を登録する」を参照してください。

↓ 補足

- 発信元情報は、最初に本機の電源を入れたときに行う初期設定で登録します。また、[管理者用設定] の [ファクス発信元情報登録] で登録した内容の確認や変更ができます。発信元情報について詳しくは、P.39 「発信元情報を登録する」を参照してください。

## 外付け電話機を接続して使いたい

本機に外付け電話を接続して、ひとつの回線でファクスと電話の両方を使えます。



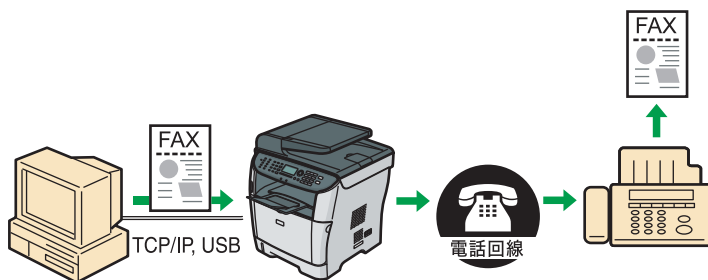
CME202

### 本機で外付け電話機を使うための準備

1. 本機に外付け電話機を接続します。  
詳しくは、P.26 「電話回線に接続する」を参照してください。
2. ファクス受信モードを選択します。  
詳しくは、P.75 「ファクスを受信する」を参照してください。

## パソコンからファクスを送りたい (PC ファクス)

Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機を経由して、紙に出力せずに直接相手のファクスへ送信できます。



CME203



## USB で PC ファクスを送信するための準備

USB で PC ファクスを使うには：

1. 本機とパソコンを USB で接続します。  
詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「USB ケーブルでパソコンと接続する」を参照してください。
2. PC ファクスドライバーをパソコンにインストールします。  
詳しくは、P.41「PC ファクスドライバーをインストールする」を参照してください。
3. PC ファクスのあて先をアドレス帳に登録します。  
詳しくは、P.89「PC ファクスのアドレス帳を設定する」を参照してください。

## ネットワーク環境で PC ファクスを送信するための準備

ネットワーク環境で PC ファクスを使うには：

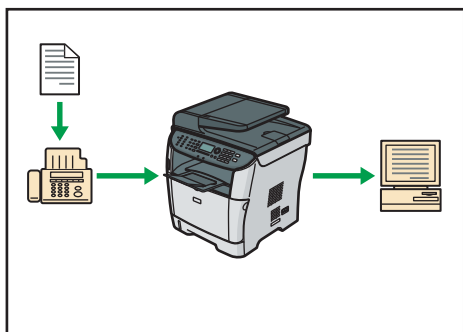
1. 本機をネットワークに接続します。  
詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「ネットワークケーブルで接続する」を参照してください。
2. 操作部から IP アドレスなどのネットワーク設定をします。  
詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「IP アドレスの設定をする」を参照してください。
3. パソコンに PC ファクスドライバーをインストールします。  
詳しくは、P.41「PC ファクスドライバーをインストールする」を参照してください。
4. PC ファクスのあて先をアドレス帳に登録します。  
詳しくは、P.89「PC ファクスのアドレス帳を設定する」を参照してください。

---

## 受信したファクスを転送したい

---

重要なファクスを不正に閲覧されることを防止するために、あらかじめ設定されたあて先に受信したファクスを転送できます。



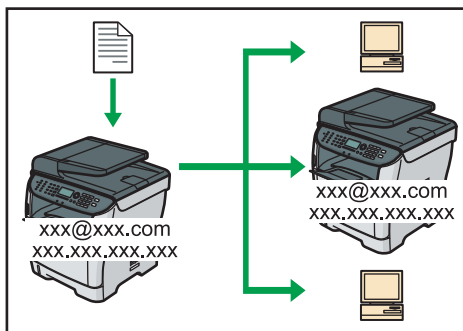
CME204

### 受信したファクスを転送するための準備

1. 操作部のファクス初期設定と、Web Image Monitor の関連項目を設定します。  
詳しくは、P.79 「受信したファクスを転送する」を参照してください。

## インターネットファクスを送受信したい


インターネットファクスでは、インターネットを通してファクスの送受信ができます。インターネットファクスのあて先にファクスを送信すると、本機は読み取った画像を TIFF-F 形式のファイルに変換し、メールの添付ファイルとして送信します。また、本機に設定したメールアドレス宛てにファクスを受信できます。



CME205

### インターネットファクスを送受信するための準備

1. 本機をネットワークに接続します。  
詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』📄 「ネットワークケーブルで接続する」を参照してください。
2. 操作部から IP アドレスなどのネットワーク設定をします。  
詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』📄 「IP アドレスの設定をする」を参照してください。
3. Web Image Monitor から DNS や SMTP に関して必要な設定をします。

詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「DNS の設定をする」、「SMTP の設定をする」を参照してください。

4. Web Image Monitor から POP3 やインターネットファクスに関して必要な設定をします。

詳しくは、P.133 「POP3 の設定をする」、P.134 「インターネットファクスの設定をする」を参照してください。

5. Web Image Monitor からアドレス帳にあて先を登録します。

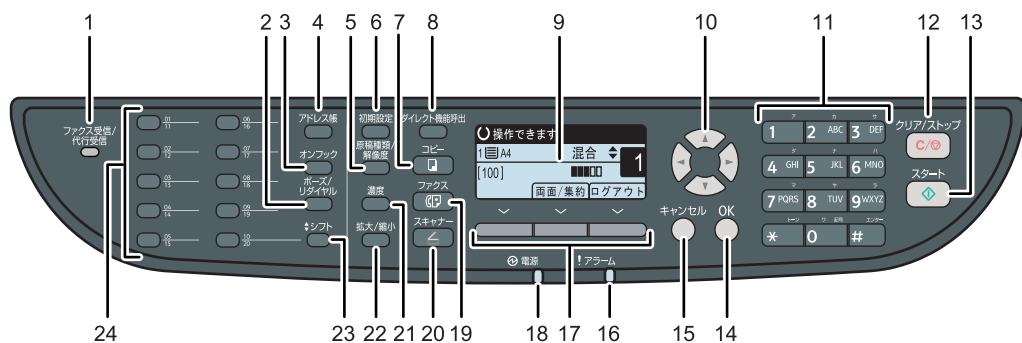
詳しくは、P.55 「Web Image Monitor であて先を登録する」を参照してください。

# 操作部の名称とはたらき

本体操作部の名称とはたらきについて説明します。

## ★重要

- メモリーに保存されているファクスは、本機の電源が切れた状態でも約1時間メモリーに保持されますが、それ以上の時間が経過すると消去されます。ファクス受信/代行受信ランプが点灯か点滅をしていたら、電源を切る前に保存されているファクスを印刷してください（本機を移動する場合など）。



CME019

## 1. ファクス受信/代行受信ランプ

受信したファクスがメモリーに保存されているときに点灯します。トナー切れや紙づまりなどでファクスを印刷できないときは点滅します。

## 2. [ポーズ/リダイヤル] キー

- ポーズ  
ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入力した箇所は、「P」と表示されます。
- リダイヤル  
最後に使用したスキャナーかファクスのあて先を表示します。

## 3. [オンフック] キー

ファクスを送信する際に、オンフックダイヤル機能を使ってあて先の通信状態を確認します。

## 4. [アドレス帳] キー

ファクスやスキャンしたファイルを送信するときに、アドレス帳からあて先を指定します。

## 5. [原稿種類/解像度] キー

原稿の読み取り方法を一時的に変更します。

- コピーモード：文字、写真、混合を選択します。
- スキャナーモード：解像度を選択します。
- ファクスモード：ふつう字、小さな字、写真を選択します。

## 6. [初期設定] キー

本機の初期設定を変更するメニューを表示します。

## 7. [コピー] キー

コピーモードに切り替えます。本機がコピーモードのとき、このキーが点灯します。

## 8. [ダイレクト機能呼出] キー

このキーにあらかじめ設定された機能呼び出します。設定によって、以下の操作をワンタッチで行えます：

- ID カードコピーモードを有効にする
- ファクス初期設定の [受信文書印刷] メニューを呼び出す
- ファクス送信設定の [直接送信] メニューを呼び出す
- スキャナーのアドレス帳を呼び出す (E メール/FTP/フォルダー送信のあて先)
- [両面/集約] コピーのメニューを呼び出す

## 9. 画面

本機の状態やメッセージが表示されます。

## 10. スクロールキー

カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させるときに使います。

本機が待機状態のときに [◀] [▶] キーを押すと、選択中の機能 (コピー、スキャナー、ファクス) に関する設定を変更するメニューを表示します。

## 11. テンキー

ファクス番号や印刷部数などを指定するときに数字を入力したり、名前を指定するときに文字を入力したりします。

## 12. [クリア/ストップ] キー

- ジョブの処理中：ジョブをキャンセルします。
- 設定中：設定をキャンセルして待機状態に戻ります。
- 待機中：原稿の濃度や解像度など、一時的に変更した設定をキャンセルします。

## 13. [スタート] キー

コピーやスキャン、またはファクスの送信を開始します。

## 14. [OK] キー

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに押します。

## 15. [キャンセル] キー

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、メニューから通常の表示に戻るときに押します。

## 16. アラームランプ

消耗品の交換など、本機の保守が必要なときに、黄色で点滅します。本機にエラーが発生したときは赤色で点灯します。

エラーが発生したときは、画面に表示されたメッセージを確認して対処してください。

## 17. 選択キー

画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

## 18. 電源ランプ

本機の電源が入っているときに点灯します。電源が入っていないときは消灯します。

### 19. [ファクス] キー

ファクスモードに切り替えます。本機がファクスモードのとき、このキーが点灯します。

### 20. [スキャナー] キー

スキャナーモードに切り替えます。本機がスキャナーモードのとき、このキーが点灯します。

### 21. [濃度] キー

原稿の濃度を一時的に変更します。

- コピーモード：5段階の調整ができます。
- スキャナーモード：5段階の調整ができます。
- ファクスモード：3段階の調整ができます。

### 22. [拡大/縮小] キー

- コピーモード：拡大・縮小率を一時的に変更します。
- スキャナーモード：原稿の読み取りサイズを一時的に変更します。

### 23. [シフト] キー

スキャナーかファクスのあて先を指定するときに、ワンタッチキーを 11～20 に切り替えます。



### 24. ワンタッチキー

アドレス帳に登録されたワンタッチダイヤルのあて先を選択します。

#### ↓ 補足

- 本機が予熱モードや省エネモードのときは、画面のバックライトが消灯します。
- ジョブの処理中は、本機の設定メニューを表示することはできません。本機の状態は、画面に表示されるメッセージで確認できます。「印刷中」、「コピー中」、または「処理中」などのメッセージが表示されている場合は、ジョブが終了するまでお待ちください。

#### 目 参照

- [ダイレクト機能呼出] キーの設定について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「管理者用設定」を参照してください。
- アラームランプが点灯または点滅しているときの対処について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。
- ファクス受信/代行受信ランプが点灯または点滅しているときの対処について詳しくは、P.82 「受信文書印刷設定を切り替える」を参照してください。

## 2. ファクスを使う前に

本機をファクスとして使う前に必要な、電話回線への接続方法、日付や発信元の登録などの設定方法を説明します。

### ファクス設定の流れ

ファクス設定の流れについて説明します。

#### 1. 設定項目を確認する。

ファクスを使用するために必要な設定値を確認します。

P.24 「設定項目を確認する」

#### 2. 電話回線に接続する。

ご使用の環境に応じて本機を接続します。

P.26 「電話回線に接続する」

#### 3. 電話回線の種別を選択する。

ご使用の電話回線サービスに合わせて、回線の種別を設定します。P.22 「回線種別の確認方法」を参照して、回線の種別を確認してください。

P.30 「電話回線の種別を選択する」

#### 4. 電話回線への接続方法を選択する。

電話回線への接続方法を選択します。

P.32 「電話回線への接続方法を選択する」

#### 5. 外線発信番号を設定する。

本機が構内交換機（PBX）を経由して電話回線に接続されているときは、外線発信番号を設定します。

P.34 「外線発信番号を設定する」

#### 6. 日時を設定する。

本機の内部時計の日時と、日時の表示形式を設定します。

P.35 「日時を設定する」

#### 7. 受信モードを選択する。

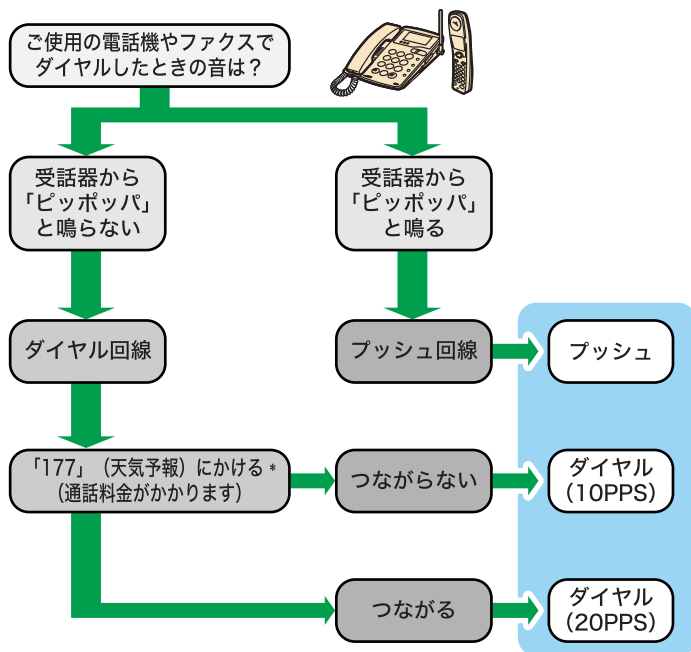
お使いの条件に応じて、受信モードを選択します。P.23 「受信モードの確認方法」を参照して、どのモードを選ぶか確認してください。

P.37 「受信モードを選択する」

#### ↓ 補足

- 受信モードを選択したら、ファクスの設定は終了です。発信元情報の確認や変更をしたい場合は、P.39 「発信元情報を登録する」を参照してください。

## 回線種別の確認方法



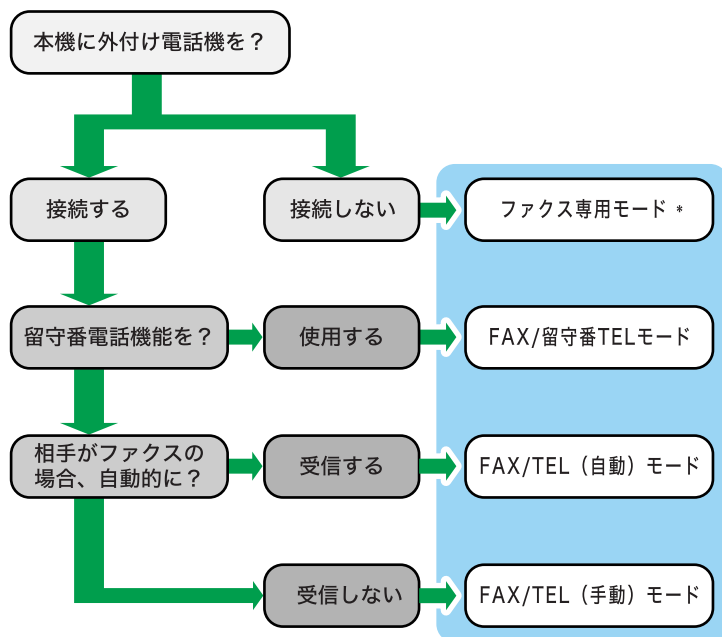
CHP601

\*: 「177」(天気予報)にかける前に、本機に電話線を接続して、回線種別を [ダイヤル (20PPS)] に設定してください。P.26 「電話回線に接続する」、P.30 「電話回線の種別を選択する」を参照してください。

そのあと、本機の [ファクス] キーを押してから [オンフック] キーを押し、テンキーで「177」と入力します。つながった場合は、本機のスピーカーから音声聞こえます。確認後は、[クリア/ストップ] キーを押してください。



## 受信モードの確認方法



CHP602

\*：外付け電話機を接続した状態でも、ファクス専用モードを選択できます。詳しくは、P.37「受信モードを選択する」を参照してください。

## 設定項目を確認する



ファクス機能をご使用になるには、以下の項目を設定します。あらかじめ設定値の内容を確認してください。

### ファクス設定項目一覧

設定項目	説明	設定値
<b>A</b> 接続環境	ご使用の環境に応じた接続をします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般電話</li> <li>• ADSL *1</li> <li>• ISDN *1</li> <li>• ひかり電話 *1</li> <li>• 内線電話 *1</li> </ul>
<b>B</b> 回線種別	ご使用の電話回線サービスに合わせて、回線の種別を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プッシュ回線</li> <li>• ダイヤル回線 (10PPS)</li> <li>• ダイヤル回線 (20PPS)</li> </ul>
<b>C</b> 接続方法	電話回線への接続方法を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外線 (公衆交換電話網 [PSTN] に接続する場合)</li> <li>• 内線 (構内交換機 [PBX] に接続する場合)</li> </ul>
*2 外線発信番号	外線への発信番号を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外線アクセスコード (最大 3 桁)</li> </ul> 例として、社内の内線電話から外線に電話をかけるときに、電話番号の先頭に数字を付けて電話をかけるような回線をご使用の場合に設定します。 設定例： 0
<b>D</b> 日付の設定	本機の内部時計の日時と、日時の表示形式を設定します。	年、月、日 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 年/月/日</li> <li>• 月/日/年</li> <li>• 日/月/年</li> </ul> 時刻形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 12 時間形式 (AM / PM)</li> <li>• 24 時間形式</li> </ul>
<b>E</b> 受信モード	ご使用の条件に応じて、受信モードを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファクス専用</li> <li>• FAX/TEL (手動)</li> <li>• FAX/TEL (自動)</li> <li>• FAX/留守番 TEL</li> </ul>
*3 発信元登録	本機の名称と番号を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 名称 (半角英数字/半角カナで最大 20 文字)</li> <li>• 番号 (最大 20 桁)</li> </ul>

\*1：G3 回線にのみ対応しています。G4 回線には対応しておりません。

\*2：接続方法で内線を選択した場合 (PBX を経由して電話回線に接続する場合は、外線発信番号を設定します。

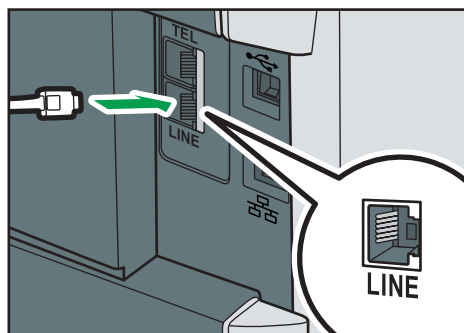
\*3: 本機の名称と番号は、本機の電源を最初に入れた時に登録を行います。詳しくは、『かんたんセットアップ』  を参照してください。登録した内容を変更する場合は、P.39「発信元情報を登録する」を参照してください。

## 電話回線に接続する

本機を P.24 「設定項目を確認する」の A で確認した環境に合わせて接続してください。  
また、外付け電話機を接続すると、同じ回線を通話にも使用できます。

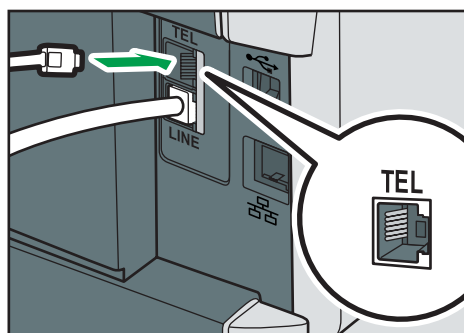
2

### 1. 電話線を、「LINE」側に接続します。



CMF032

### 2. 外付け電話機を取り付ける場合は、「TEL」側に接続します。



CMF033

#### ↓ 補足

- 外付け電話に搭載されている機能で、本機と互換性のないものについては、ご使用になれません。

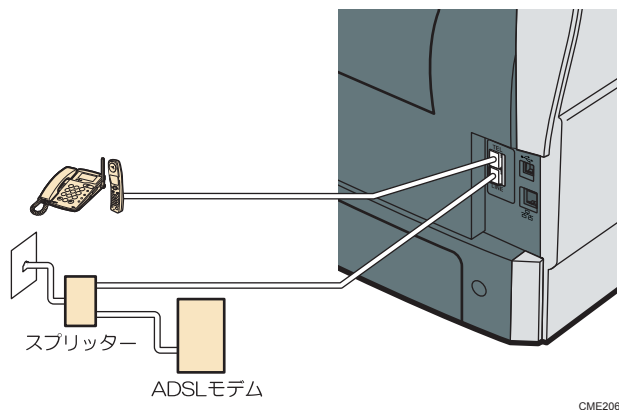
## ADSL 環境に接続する場合

本機を ADSL 環境に接続する場合の接続例を示します。

#### ★ 重要

- この接続は代表例であり、すべての接続を保証するものではありません。詳しい設定・接続方法に関しては、スプリッター・ADSL モデムの取扱説明書を参照してください。

- ブランチ接続（並列接続）はしないでください。一つの電話回線に複数台の電話機を接続すると、送信した画像品質が低下したり、正しくファクスの送信や受信ができないなど、通信エラーの原因となります。



#### ↓ 補足

- スプリッターと ADSL モデムが一体のものもあります。その場合は新たにスプリッターを介する必要はありません。

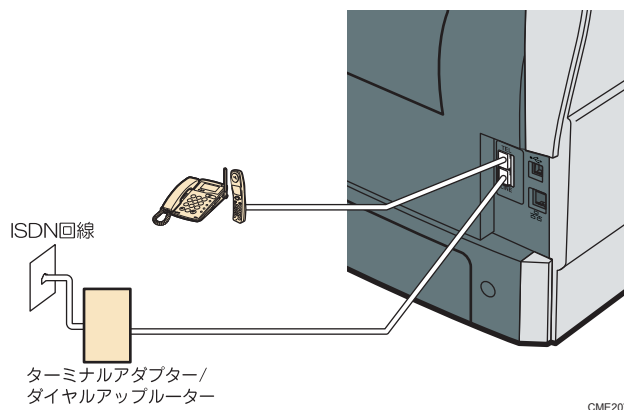
## ISDN 環境に接続する場合

本機を ISDN 環境に接続する場合の接続例を示します。

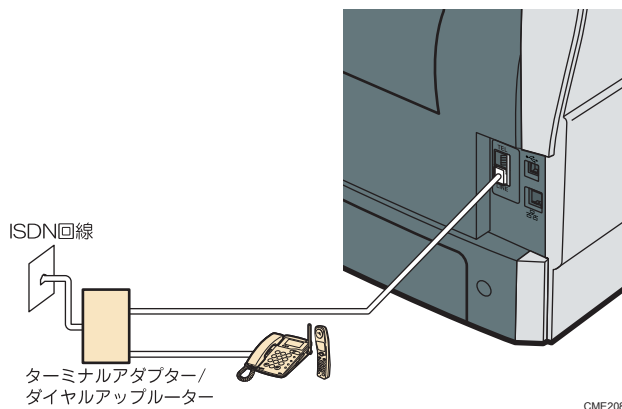
#### ★ 重要

- ISDN 回線への直接接続には対応していません。
- 詳しい説明については、ターミナルアダプター、またはダイヤルアップルーターの取扱説明書を参照してください。

ファクス通信中に電話を使用しない場合（電話番号が 1 つの場合）



## ファクス通信中に電話を使用できる場合（電話番号が2つの場合）



### ↓ 補足

- ターミナルアダプター、またはダイヤルアップルーターのファクス番号が割り当てられているポートに本機を接続してください。
- 受信モードを [ファクス初期設定] の [受信モード切り替え] で [ファクス専用] に設定してください。

### 目 参照

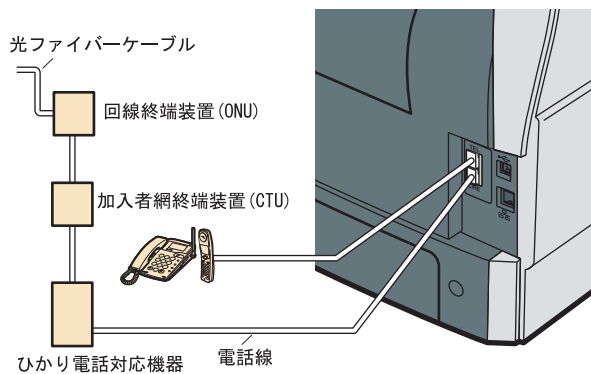
- 受信モードについて詳しくは、P.75 「ファクスを受信する」を参照してください。

## ひかり電話環境に接続する場合

本機をひかり電話環境に接続する場合の接続例を示します。

### ★ 重要

- 下記接続は代表例であり、すべての接続を保証するものではありません。詳しい説明については、加入者網終端装置（CTU）などの取扱説明書を参照してください。
- お住まいの地域によっては配線方法や接続機器が異なる場合があります。
- ファクス接続が可能であることを事前に通信業者にご確認ください。



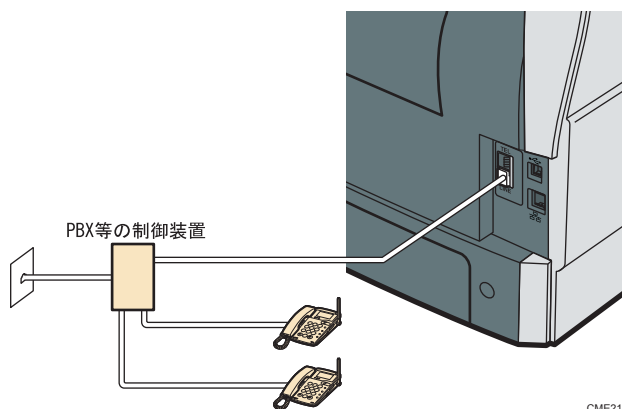
CME209

## 内線電話環境に接続する場合

本機を内線電話環境に接続する場合の接続例を示します。

### ★重要

- 構内交換機 (PBX) などの制御装置に接続する場合は、接続装置に設定が必要となります。



CME210

### ↓補足

- 内線電話環境に接続する場合は、管理者用設定の [内線アクセス番号] で、外線発信番号を設定してください。

### 📖参照

- 外線発信番号を設定する方法について詳しくは、P.34 「外線発信番号を設定する」を参照してください。

## 電話回線の種別を選択する

電話回線の種別を、P.24「設定項目を確認する」の⑤で確認した種別に合わせて選択してください。

電話回線には、プッシュ（トーン）回線とダイヤル（パルス）回線の2種類があります。また、ダイヤル回線には10PPSと20PPSの2種類があります。回線の種別は、地域や環境によって異なります。

### ★重要

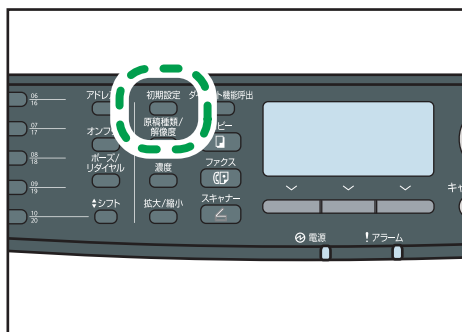
- P.22「回線種別の確認方法」を参照して、ご使用の電話回線サービスをあらかじめご確認下さい。それでもご不明な場合は、サービスを提供している電話会社にお問い合わせください。
- 本機はナンバーディスプレイに対応していません。ナンバーディスプレイを契約している回線に本機を接続してFAX受信を行う場合は、[ファクス初期設定]の[ナンバーディスプレイ]を[契約している]に変更してください。詳しくは、P.110「ファクス機能初期設定」を参照してください。

### 回線種別の確認方法

回線の種別を確認するには、普段ご使用の電話機でダイヤルしたときの音を確認めます。受話器から「ピッポッパ」と聞こえたら、プッシュ回線です。

聞こえなかったら、まず本機の[ダイヤル/プッシュ選択]を[ダイヤル(20PPS)]に設定してください。そのあと、[ファクス]キーを押してから[オンフック]キーを押し、テンキーで「177」(天気予報)などをダイヤルします。つながった場合は20PPSのダイヤル回線で、つながらなかった場合は10PPSのダイヤル回線です。なお、「177」(天気予報)などに電話をかけると、通話料金がかかります。


#### 1. [初期設定] キーを押します。



CME023

#### 2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選び、[OK] キーを押します。




3. パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し [OK] キーを押します。  
工場出荷時にはパスワードは設定されていません。パスワードを設定することをおすすめします。
4. [▲] [▼] キーを押して [ダイヤル/プッシュ選択] を選び、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して、 で確認した電話回線サービスに合った種別を選び、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

 補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

 参照

- [管理者用設定をロック] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』  「管理者用設定」を参照してください。

## 電話回線への接続方法を選択する

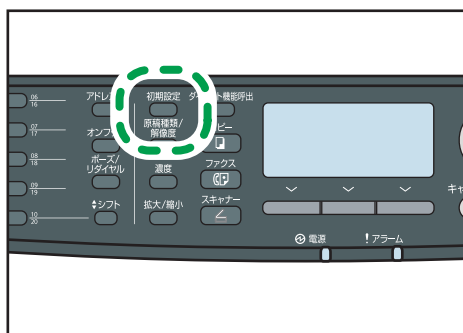
電話回線の種別を、P.24「設定項目を確認する」の③で確認した方法に合わせて選択してください。

電話回線への接続方法には、公衆交換電話網（PSTN）と構内交換機（PBX）の2つがあります。

### ★重要

- 一般的なご家庭などでご使用の場合は、[外線] に設定してください。

### 1. [初期設定] キーを押します。



CME023

### 2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選び、[OK] キーを押します。

### 3. パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し [OK] キーを押します。

工場出荷時にはパスワードは設定されていません。パスワードを設定することをおすすめします。

### 4. [▲] [▼] キーを押して [内線/外線選択] を選び、[OK] キーを押します。

### 5. [▲] [▼] キーを押して、③で確認した接続方法（[外線] か [内線]）を選び、[OK] キーを押します。

PSTN に接続する場合は [外線] を、PBX に接続する場合は [内線] を選択してください。

### 6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。


- [外線] を選択した場合  
P.35「日時を設定する」に進んでください。
- [内線] を選択した場合  
P.34「外線発信番号を設定する」に進んでください。

### ↓補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

 参照

- [管理者用設定をロック] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「管理者用設定」を参照してください。

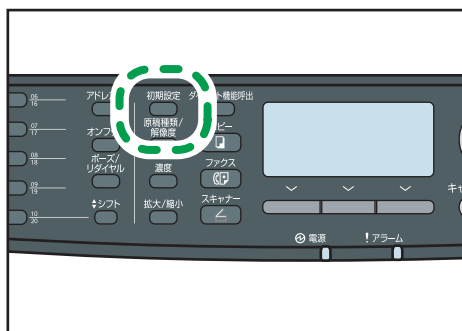
## 外線発信番号を設定する

PBX を経由して電話回線に接続するときは、外線発信番号を設定してください。

### ★重要

- ご使用の PBX の設定に合った外線発信番号を設定してください。設定が合っていないと、外線へのファクス送信を正常に行えない場合があります。

### 1. [初期設定] キーを押します。



CME023

2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選び、[OK] キーを押します。
3. パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し [OK] キーを押します。  
工場出荷時にはパスワードは設定されていません。パスワードを設定することをおすすめします。
4. [▲] [▼] キーを押して [内線アクセス番号] を選び、[OK] キーを押します。
5. 「ファクス設定項目一覧」で確認した外線発信番号をテンキーで入力し、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

### ↓補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

### 目参照

- [管理者用設定をロック] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』③「管理者用設定」を参照してください。

# 日時を設定する

本機の内部時計の日時と日時の表示形式を、P.24「設定項目を確認する」の①で確認した方法に合わせて選択してください。

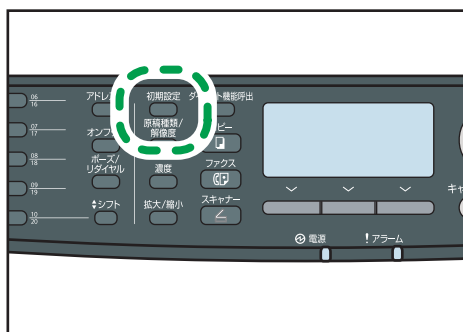
- 日付

日付形式（月/日/年、日/月/年、年/月/日）を選択し、年、月、日を設定します。

- 時刻

時間形式（12 時間か 24 時間形式）を選択し、時、分、および 12 時間形式を選択した場合は AM/PM の表示を設定します。

## 1. [初期設定] キーを押します。



CME023

## 2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選び、[OK] キーを押します。

## 3. パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押します。

工場出荷時にはパスワードは設定されていません。パスワードを設定することをおすすめします。

## 4. [▲] [▼] キーを押して [年月日/時刻設定] を選び、[OK] キーを押します。

## 5. [▲] [▼] キーを押して [年月日設定] を選び、[OK] キーを押します。

## 6. [▲] [▼] キーを押して日付形式を選び、[OK] キーを押します。

## 7. テンキーで現在の日付を入力して、[OK] キーを押します。

[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。

## 8. [▲] [▼] キーを押して [時刻設定] を選び、[OK] キーを押します。

## 9. [▲] [▼] キーを押して時間形式を選び、[OK] キーを押します。

## 10. テンキーで現在の時刻を入力して、[OK] キーを押します。

[12 時間形式] を選んだ場合は、[▲] [▼] キーで [AM] か [PM] を選んでください。

[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。

## 11. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

### ↓ 補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。
- 無効な日付を入力した場合は、自動的に一番近い有効な日付に修正されます。

### 📖 参照

- [管理者用設定をロック] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』📖 「管理者用設定」を参照してください。

## 受信モードを選択する

本機のファクス受信モードを、P.24「設定項目を確認する」の③で確認したモードに合わせて選択してください。

### ★重要

- FAX/留守番 TEL モードでは、[ファクス初期設定] の [総呼び出し回数 (留守番 TEL)] で設定した回数の呼び出し音が鳴ったら、ファクス受信が開始されます。お使いの留守番電話機を、ファクス受信が始まる前に応答するように設定してください。

### ファクス専用で使う場合

外付け電話機や留守番電話機が接続されていない場合は、ファクス専用モードを選択してください。

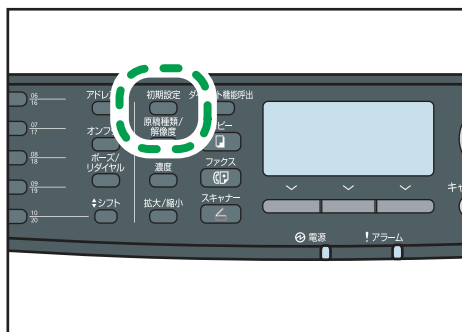
- ファクス専用モード (自動受信)  
すべての着信に対して、自動的にファクス受信を開始します。

### 本機に外付け機器を取り付ける場合


外付け電話機や留守番電話機が接続されている場合は、以下のいずれかのモードを選びます。

- FAX/TEL (手動) モード (手動受信)  
電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。ファクスが送られてきていたら、手動でファクスに切り替えて受信します。
- ファクス専用モード (自動受信)  
すべての着信に対して、設定された回数で外付け電話機が鳴ったあと、自動的にファクス受信を開始します。
- FAX/TEL (自動) モード (自動受信)  
電話がかかってきたら、受話器を上げて通話します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。
- FAX/留守番 TEL モード (自動受信)  
受信モードが FAX/留守番 TEL モードのときは、外付けの留守番電話機が応答し、電話の場合はメッセージを録音します。ファクスの場合は、自動的にファクスを受信します。

### 1. [初期設定] キーを押します。





CME023

2. [▲] [▼] キーを押して [ファクス初期設定] を選び、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [受信設定] を選び、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [受信モード切り替え] を選び、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] [◀] [▶] キーを押して、で確認した受信モードを選び、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

#### ↓ 補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

#### 目 参照

- [総呼び出し回数 (留守番 TEL)] について詳しくは、P.110 「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- インターネットファクスを受信する方法について詳しくは、P.78 「インターネットファクスを受信する」を参照してください。
- ファクスのかんたんな使い方は『クイックガイド』 を参照してください。



# 発信元情報を登録する

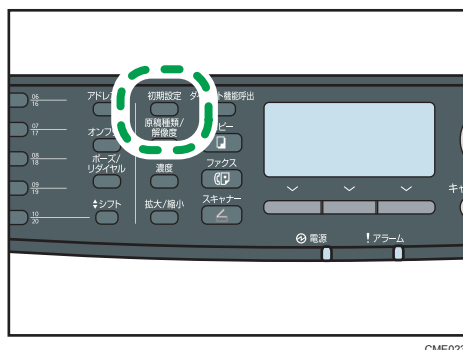
発信元の情報（本機の番号と名称）の設定方法について説明します。

ここで設定した番号と名称が相手先のファクスに通知されます。

本機の電源を初期投入したときに番号と名称を登録しますが、必要に応じて登録した内容を変更できます。

2

## 1. [初期設定] キーを押します。



CME023




2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選び、[OK] キーを押します。
3. パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押します。  
工場出荷時にはパスワードは設定されていません。パスワードを設定することをおすすめします。
4. [▲] [▼] キーを押して [ファクス発信元情報登録] を選び、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [番号:] を選び、テンキーで本機の番号（最大 20 桁）を入力します。  
「+」を入力するには [＊] キーを、スペースを入力するには [▶] キーを押します。
6. [▲] [▼] キーを押して [名称:] を選び、テンキーで本機の名称（半角英数字/半角カナで最大 20 文字）を入力します。
7. 設定を確認し、[OK] キーを押します。
8. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

### ↓ 補足

- 番号には、0～9 までの数字、「+」、およびスペースが使用できます。名称には、数字、文字、および記号が使用できます（漢字・ひらがなは入力できません）。
- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

- [ファクス送信設定] の [発信元情報印字] 設定を有効にすると登録した番号、名称、および送信日時が、送信するすべてのファクスのヘッダーに表示されます。

 参照

- 文字入力について詳しくは、『クイックガイド』  「文字を入力する」を参照してください。
- [管理者用設定をロック] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「管理者用設定」を参照してください。
- [発信元情報印字] について詳しくは、P.106 「ファクス送信の設定」を参照してください。

# PC ファクスドライバーをインストールする

PC ファクス機能をご使用いただくためのドライバーは、付属の CD-ROM からインストールできます。

パソコンに CD-ROM をセットすると、自動的に CD-ROM が起動してメニューが表示されます。ここから、PC ファクスドライバーをインストールしてください。ネットワーク環境でお使いの場合は TCP/IP ポートに、USB 接続でお使いの場合は USB ポートにインストールします。

## ★重要

- PC ファクスドライバーは、Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 に対応しています。

## PC ファクスドライバー（TCP/IP ポートを使用する）

次の手順で、PC ファクスドライバーを TCP/IP ポートにインストールしてください。

## ★重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。
- この操作を行うには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。
- この手順を始める前に、本機に IP アドレスを割り当ててください。詳しくは『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「IP アドレスの設定をする」を参照してください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。  
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。



3. [PC FAX ドライバー] をクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。

4. 使用許諾契約をお読みください。そのあと [同意します] をクリックし、[次へ>] をクリックします。

5. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで本機の名前を選択して、[+] をクリックしてメニューを表示し、[ポート：<LPT1:>] をクリックします。

6. [ポートの設定の変更] で [追加] をクリックします。

7. [Standard TCP/IP Port] をクリックし、[OK] をクリックします。

8. [次へ>] をクリックします。

9. [プリンター名または IP アドレス:] に本機の IP アドレスを入力し、[次へ>] をクリックします。

入力した IP アドレスは、自動的に [ポート名:] に反映されます。

「追加のポート情報が必要です」と表示された場合は、[デバイスの種類] で [標準] を選択し、[次へ>] をクリックします。

10. [完了] をクリックします。

11. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで必要な設定を行って、[完了] をクリックします。

12. インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。

再起動が必要な場合は、今すぐ再起動するか、あとで再起動するかを選択してください。

↓ 補足

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。

## PC ファクスドライバー (USB ポートを使用する)

次の手順で、PC ファクスドライバーを USB ポートにインストールしてください。

★ 重要

- PC ファクスドライバーをインストールする前に、[USB おすすめインストール] でプリンタードライバーをインストールし、ドライバーのプロパティでどの USB ポートを使用しているか確認してください。
- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。

- この操作を行うには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。  
Administrators グループのメンバーでログオンしてください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。  
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。



3. [PC FAX ドライバー] をクリックします。  
ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。
4. 使用許諾契約をお読みください。そのあと [同意します] をクリックし、[次へ>] をクリックします。
5. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで本機の名前を選択して、[+] をクリックしてメニューを表示し、[ポート：<LPT1:>] をクリックします。
6. [ポートの設定の変更] のリストから [USBxxx] を選択します。  
"xxx"は、コンピューターに作成されている USB ポートの数によって異なります。プリンタードライバーが使用している USB ポートを選択してください。
7. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで必要な設定を行って、[完了] をクリックします。
8. インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。  
再起動が必要な場合は、今すぐ再起動するか、あとで再起動するかを選択してください。

#### 目 参照

- [USB おすすめインストール] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「USB おすすめインストール」を参照してください。
- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。

## オプションを取り付ける

オプションを取り付ける方法を説明します。

### 2

### ハンドセットを取り付ける

オプションのハンドセットを取り付ける方法を説明します。

ハンドセットを接続すると、本機を通常の電話機として使用できるほか、着信があった際、電話とファクスの切り替えをかんたんに行えます。

#### 目 参照

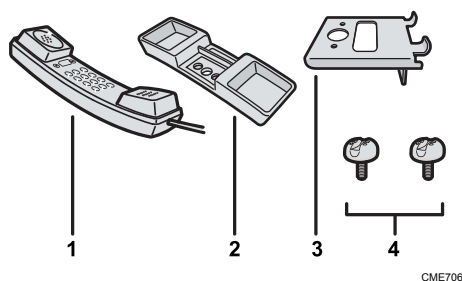
- 電話とファクスの切り替えについて詳しくは、P.77 「電話/ファクスを切り替える」を参照してください。

### ハンドセットを接続する

#### ★ 重要

- ハンドセットは、必ず本体左側面の後方位置に取り付けてください。前側にある通風口を塞がないようにご注意ください。
- ブラケットに強い衝撃や力を加えないでください。破損の原因になります。約 50N (約 5kgf) が限界です。(N はニュートンです。kgf は重量キログラムです。1kgf は約 9.8N となります。)
- ハンドセットの受け台をハンドセットブラケットに固定するときは、ねじを締めすぎないでください。受け台またはブラケットを破損する恐れがあります。
- ハンドセットのコードには、ノイズを抑えるためにフェライトコアが装着してあります。フェライトコアは取り外さないでください。

#### 1. 同梱品を確認します。

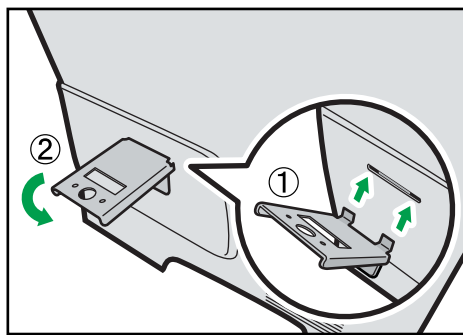


1. ハンドセット
2. ハンドセットの受け台

3. ハンドセットブラケット

4. ねじ×2

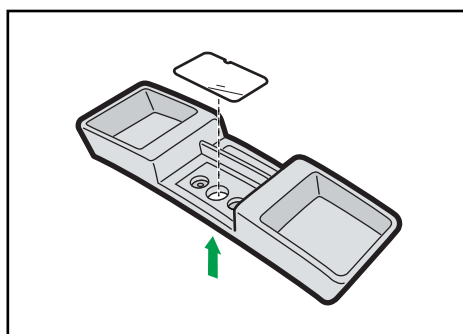
2. ハンドセットブラケットから両面テープの保護シートをはがし、本機左側面に図のように取り付けます。



CME701

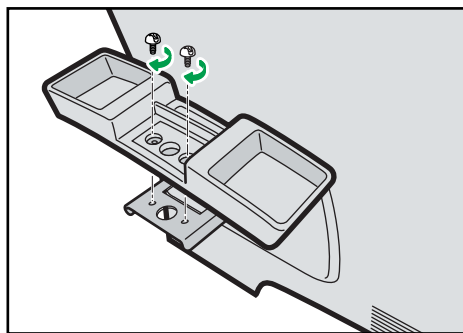
3. ハンドセットの受け台から、お問い合わせ先カードを取り除きます。

カードを下から押すと、簡単に外せます。



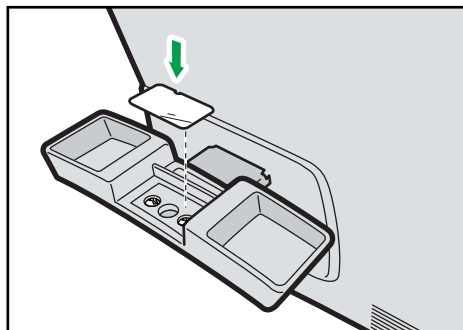
CME705

4. ハンドセットの受け台を、付属のねじをコインで回してハンドセットブラケットに固定します。



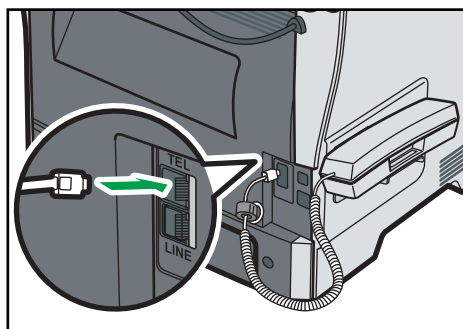
CME702

5. お問い合わせ先カードをもとに戻します。



CME703

6. ハンドセットを受け台に置き、コードを「TEL」につなぎます。



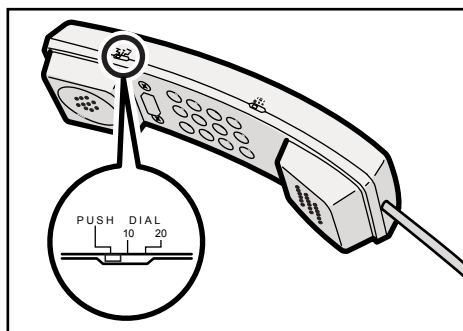
CME704

## ハンドセットを設定する

### ハンドセットの種別を設定する

細長い棒状のものでハンドセットの回線切替スイッチを電話回線の種別と同じに設定します。

- プッシュ回線: プッシュ
- ダイヤル回線: 10 (PPS) または 20 (PPS)



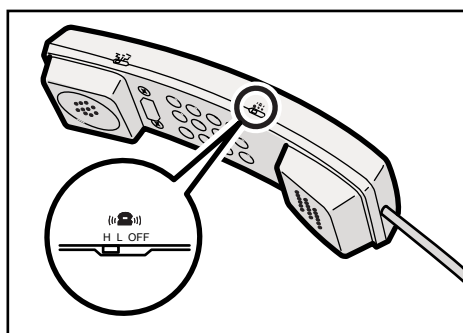
CHP106



## ハンドセットのベル音量を調整する

細長い棒状のものでハンドセットのベル音量調整スイッチを調整します。

- 大:H
- 小:L
- 無音:OFF



CHP107



# 3. ファクス機能を使う

ファクス機能について説明します。

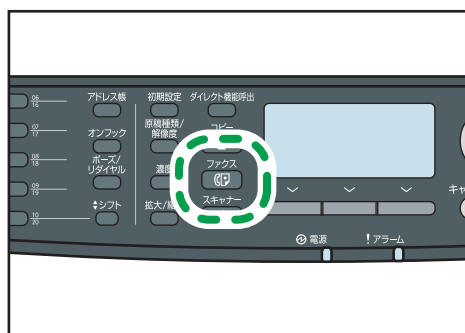
## ファクスモード画面

ファクスモードの画面について説明します。

初期設定では、電源を入れるとコピーモード画面が表示されます。

コピーかスキャナーモード画面が表示される場合は、操作部の [ファクス] キーを押してファクスモード画面に切り替えてください。

3



CME022

### 初期画面



CME200

1. 本機の現在の状態やメッセージ  
本機の現在の状態やメッセージを表示します。
2. 現在の設定  
現在設定されている解像度と濃度を表示します。
3. 選択キーの項目  
選択キーを押して使用できる機能を表示します。
4. 現在の日時  
現在の日時を表示します。

#### ↓ 補足

- 本機の電源を入れたときのモードは、[管理者用設定] の [優先機能] で設定できません。

- 日時の表示形式は、[管理者用設定] の [年月日/時刻設定] で設定できます。
- LDAP 認証が設定されているときは、ログインユーザーネームとログインパスワードを入力して、機器にログインしてください。

#### 目 参照

- [優先機能] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「管理者用設定」を参照してください。
- [年月日/時刻設定] について詳しくは、P.35「日時を設定する」を参照してください。
- 機器にログインする方法について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「LDAP 認証が設定されているとき」を参照してください。

## ファクスのあて先を登録する

操作部または Web Image Monitor を使って、アドレス帳にあて先を登録する方法について説明します。アドレス帳を使用すると、ファクスのあて先をすばやく簡単に指定できます。

### ★重要

- アドレス帳のデータは、不意に破損したり、失われることがあります。弊社では、データの喪失によるあらゆる損害に対する一切の責任を負いかねます。アドレス帳のバックアップファイルを定期的に作成してください。

アドレス帳には、最大 220 件登録できます（ワンタッチダイヤルで最大 20 件、短縮ダイヤルで最大 200 件）。

### ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルに登録したあて先は、ワンタッチキーで選択できます。

### 短縮ダイヤル

短縮ダイヤルに登録したあて先は、[アドレス帳] キーで選択できます。

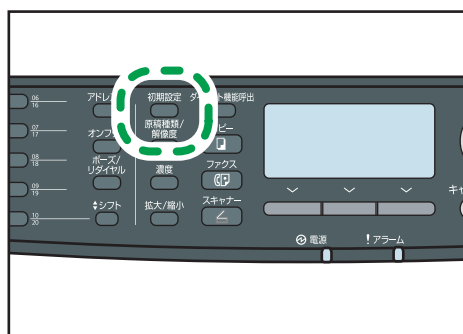
### 目 参照

- バックアップファイルの作成について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「本機の設定をバックアップする」を参照してください。

## 操作部であて先を登録する

操作部を使ってあて先を登録する方法について説明します。

### 1. [初期設定] キーを押します。



CME023




2. [▲] [▼] キーを押して [アドレス帳] を選び、[OK] キーを押します。
3. パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押します。

4. [▲] [▼] キーを押し、[ワンタッチキー宛先]、または [ファクス短縮番号宛先] を選び、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押し、[No.] を選び、テンキーでワンタッチダイヤルの番号 (1~20) か短縮ダイヤルの番号 (1~200) を入力します。  
すでにあて先が登録されている番号を入力すると、登録内容が表示されます。
6. [▲] [▼] キーを押し、[Fax No.] を選び、テンキーでファクス番号 (最大 40 桁) を入力します。
7. [▲] [▼] キーを押し、[名前] を選び、テンキーであて先名 (半角英数字/半角カナで最大 20 文字) を入力します。
8. 設定を確認してから [OK] キーを押します。
9. [初期設定] キーを押し、初期画面に戻ります。

↓ 補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- ファクス番号には、0~9 までの数字、ポーズ、「\*」、「#」、およびスペースが使用できます。
- あて先名に漢字・ひらがなは入力できません。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ時間] で設定できます。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「\*」を入れます。「\*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。
- 本機が PBX を経由して電話回線に接続されているときは、[内線アクセス番号] で設定されている外線発信番号を、ファクス番号の先頭に入力してください。
- インターネットファクスのあて先 (メールアドレス) は、Web Image Monitor で登録してください。
- [管理者用設定をロック] で、[アドレス帳] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

目 参照

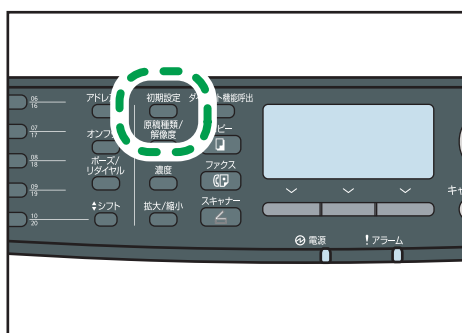
- 文字入力について詳しくは、『クイックガイド』  「文字を入力する」を参照してください。
- [ポーズ時間] について詳しくは、P.106 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- [内線アクセス番号] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「管理者用設定」を参照してください。

- インターネットファクスのあて先を登録するには、P.55 「Web Image Monitor であて先を登録する」を参照してください。
- [管理者用設定をロック] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 ④ 「管理者用設定」を参照してください。

## あて先を修正する

登録したあて先を修正する方法について説明します。

### 1. [初期設定] キーを押します。



CME023



2. [▲] [▼] キーを押して [アドレス帳] を選び、[OK] キーを押します。
3. パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押し、[ワンタッチキー宛先]、または [ファクス短縮番号宛先] を選び、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [No.] を選び、テンキーでワンタッチダイヤルの番号 (1~20) か短縮ダイヤルの番号 (1~200) を入力します。  
登録されている内容が表示されます。
6. [▲] [▼] キーを押して [Fax No.] を選び、テンキーでファクス番号 (最大 40 桁) を修正します。
7. [▲] [▼] キーを押して [名前] を選び、テンキーであて先名 (半角英数字/半角カナで最大 20 文字) を修正します。
8. 設定を確認してから [OK] キーを押します。
9. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

#### ↓ 補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

- [管理者用設定をロック] で、[アドレス帳] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

**E** 参照

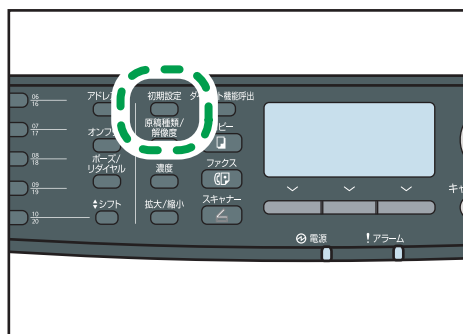
- [管理者用設定をロック] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「管理者用設定」を参照してください。
- 文字入力について詳しくは、『クイックガイド』 「文字を入力する」を参照してください。

3

## あて先を削除する

あて先の登録情報を削除する方法について説明します。

### 1. [初期設定] キーを押します。



CME023

2. [▲] [▼] キーを押して [アドレス帳] を選び、[OK] キーを押します。
3. パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押し、[ワンタッチキー宛先]、または [ファクス短縮番号宛先] を選び、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [No.] を選び、テンキーでワンタッチダイヤルの番号 (1~20) か短縮ダイヤルの番号 (1~200) を入力します。  
登録されている内容が表示されます。
6. [▲] [▼] キーを押して [Fax No.] を選び、すべての番号を [◀] キーで削除します。
7. [▲] [▼] キーを押して [名前] を選び、すべての文字を [◀] キーで削除します。
8. 設定を確認してから [OK] キーを押します。
9. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。



## ↓ 補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- [管理者用設定をロック] で、[アドレス帳] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

## 目 参照

- [管理者用設定をロック] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑧「管理者用設定」を参照してください。

## Web Image Monitor であて先を登録する

Web Image Monitor を使ってあて先を登録する方法について説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
2. [ワンタッチキー宛先] か [ファクス短縮番号宛先] をクリックします。
3. [宛先種別] リストから [ファクス宛先] を選びます。
4. [ワンタッチキー番号] か [短縮番号] を選択し、リストから登録番号を選びます。
5. 必要に応じて [名前]、[ファクス番号]、[メール宛先] を登録します。
6. 必要な場合は、管理者のパスワードを入力してください。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

## ファクスのあて先設定




項目	設定	説明
ワンタッチキー番号/ 短縮番号	必須	ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルに登録したい番号を選びます。

項目	設定	説明
名前	任意	あて先名です。あて先を選択するとき、ここで設定したあて先名が画面に表示されます。半角英数字/半角カナで 20 文字まで入力できます。
ファクス番号	任意	あて先のファクス番号です。半角英数字で 40 桁入力できます。 本機が PBX を経由して電話回線に接続されているときは、[内線アクセス番号] で設定されている外線発信番号を、ファクス番号の先頭に入力してください。
メール宛先	任意	インターネットファクスのあて先となるメールアドレスです。半角英数字で 64 桁入力できます。

#### ↓ 補足

- ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「\*」、「#」、「-」、およびスペースが使用できます。
- あて先名に漢字・ひらがなは入力できません。使用できる文字は、操作部で入力できる文字と同じです。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ時間] で設定できます。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「\*」を入れます。「\*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。

#### 目 参照

- [ポーズ時間] について詳しくは、P.106 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- [内線アクセス番号] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「管理者用設定」を参照してください。
- Web Image Monitor の使用について詳しくは、P.125 「Web Image Monitor を使う」を参照してください。
- 使用できる文字について詳しくは、『クイックガイド』  「文字を入力する」を参照してください。

## あて先を修正する

登録したあて先を修正する方法について説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。

2. [ワンタッチキー宛先] か [ファクス短縮番号宛先] をクリックします。  
短縮ダイヤルの登録先を修正する場合は、手順 4 に進んでください。
3. [ファクスワンタッチキー宛先] をクリックします。
4. 修正したい項目を選択し、[変更] をクリックします。
5. 必要に応じて設定を修正します。
6. 必要な場合は、管理者のパスワードを入力してください。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

---

## あて先を削除する

---

あて先の登録情報を削除する方法について説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
2. [ワンタッチキー宛先] か [ファクス短縮番号宛先] をクリックします。  
短縮ダイヤルの登録先を削除する場合は、手順 4 に進んでください。
3. [ファクスワンタッチキー宛先] をクリックします。
4. 削除したい項目を選択し、[削除] をクリックします。
5. 削除したい項目をきちんと選んでいるか確認します。
6. 必要な場合は、管理者のパスワードを入力してください。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

## ファクスを送信する

ファクスの送信モードと、ファクスを送信する際の基本操作について説明しています。

### ★重要

- 重要な書類を送信する場合は、事前に受信者と確認しておくことをお勧めします。
- メモリー送信モードでファクスを送っている途中で問題が起こった場合は、ファクスの内容はメモリーに保存されます。本機の電源が切れた状態でも、保存されたファクスは約1時間メモリーに保持されます。

3

### 送信モードを選択する

送信モードの選択方法について説明します。

送信モードには、メモリー送信と直接送信があります。

#### メモリー送信

このモードでは、原稿をいったんメモリーに読み込んでから一度に送信します。このモードを使用すると、複数のあて先にファクスを送信できます。

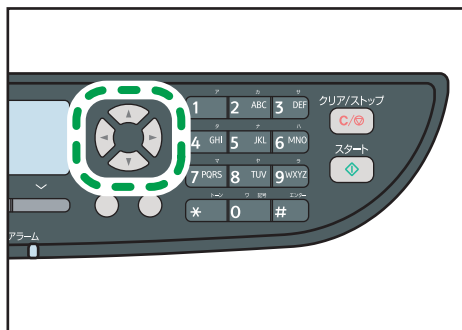
ADFで原稿の両面を読み取ってファクスを送信する場合は、このモードを選択してください。

#### 直接送信

このモードでは、原稿が読み取りと同時にファクス送信され、メモリーには保存されません。このモードで指定できるあて先は、1件のみです。

また、ADFを使用する場合でも、読み取りできるのは原稿の片面だけです。

#### 1. [ファクス] キーを押し、[◀] [▶] キーを押します。



CME033

管理者用設定の [ダイレクト機能呼出し設定] を [ファクス直接送信] に設定している場合は、[ダイレクト機能呼出] キーを押します。その場合は、手順3に進んでください。

#### 2. [▲] [▼] キーを押して [直接送信] を選び、[OK] キーを押します。

### 3. [▲] [▼] キーを押して [しない]、[する]、または [次の送信のみ] を選び、[OK] キーを押します。

メモリー送信の場合は、[しない] を選択します。

直接送信の場合は、[する] または [次の送信のみ] を選択します。

### 4. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

#### ↓ 補足

- 工場出荷時は、[直接送信] は [しない] に設定されています。
- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

#### 目 参照

- [ダイレクト機能呼出し設定] については、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「管理者用設定」を参照してください。

## インターネットファクス使用上のご注意

インターネットファクスでは、インターネットを通してファクスの送信ができます。インターネットファクスのあて先にファクスを送信すると、本機は読み取った画像を TIFF-F 形式のファイルに変換し、メールの添付ファイルとして送信します。

#### ★ 重要

- インターネットを使った通信は秘匿性が低いので、重要な書類は電話回線を使用した通常のファクス送信をお勧めします。
- インターネットファクスは、ネットワーク回線の状態によっては送信までに時間がかかることがあります。緊急を要するファクスは、電話回線を利用した通常のファクスで送信してください。

#### ↓ 補足

- 本機のインターネットファクス機能は、ITU-T 勧告 T.37（シンプルモード）に準拠しています。
- インターネットファクスを使うには、本機をネットワークに接続し、ネットワーク関連の各種設定を行う必要があります。
- インターネットファクスは、原稿をメモリーへ蓄積してファイルに変換してから送信するので、原稿の量によっては送信まで時間がかかることがあります。
- パソコンやネットワークなどの環境によっては、メールサイズが大きいと送信できないことがあります。
- インターネットファクスは A4 サイズで送信されます。A4 より大きな原稿を送信すると、自動的に A4 サイズに縮小されます。
- インターネットファクス送信では、解像度で [写真] を選択していても、[小さな字] の設定で送信されます。

- インターネットファクスは TIFF-F 形式の画像ファイルで送信されます。そのため、相手先がパソコンで受信したときは、この画像形式に対応したビューアアプリケーションがないと文書の内容を見ることができません。

**目 参照**

- 本機をネットワークに接続する方法については、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑧「ネットワークケーブルで接続する」を参照してください。
- POP3、インターネットファクスの設定について詳しくは、P.133「POP3 の設定をする」、P.134「インターネットファクスの設定をする」を参照してください。
- その他のネットワーク関連の設定について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑧「ネットワークの設定をする」を参照してください。

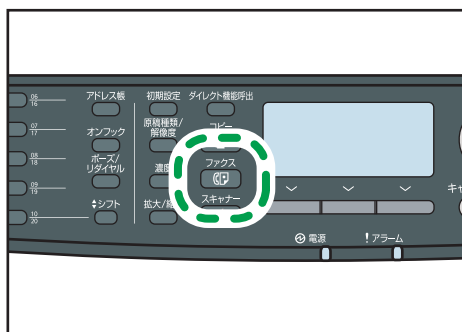
## 基本的なファクスの送りかた

ファクス送信の基本的な操作について説明します。

**★ 重要**

- ADF と原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADF の原稿が優先されません。

### 1. [ファクス] キーを押します。



CME022

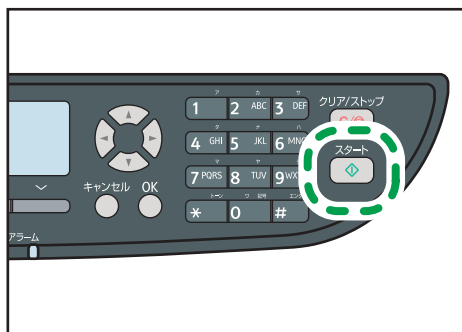
### 2. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。

必要に応じて、読み取り方法を設定してください。

### 3. テンキーでファクス番号（最大 40 桁）を入力するか、ワンタッチキーか短縮ダイヤルであて先を指定します。

- 本機が PBX を経由して電話回線に接続されているときは、[内線アクセス番号] で設定されている外線発信番号を、ファクス番号の先頭に入力してください。
- インターネットファクスのあて先は、ワンタッチキーか短縮ダイヤルで指定してください。

#### 4. [スタート] キーを押します。



- 本機の設定によっては、番号の再入力を求められます。30 秒以内に番号を再入力して [OK] を押し、[スタート] キーを押してください。入力した番号が一致しなかったら、手順 3 に戻ります。
- メモリー送信モードで原稿ガラスを使用すると、追加の原稿をセットするようにメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

#### 5. 他にも読み取る原稿がある場合は、60 秒以内に [はい] を押し、原稿ガラスに原稿をセットしてから、[OK] を押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

60 秒以内に [はい] が押されなかった場合は、本機はあて先へのダイヤルを開始します。








#### 6. すべての原稿を読み取ったら、[いいえ] を押してファクスを送信します。

##### ↓ 補足

- ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「\*」、「#」、およびスペースが使用できます。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ時間] で設定できます。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「\*」を入れます。「\*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。
- あて先は、[ポーズ/リダイヤル] キーを使用したり、LDAP サーバーを検索したりして指定することもできます。
- 複数のあて先に対して同報送信することも可能です。
- 管理者用設定の [ファクス番号確認] が有効な場合、テンキーで番号を入力すると番号の再入力を求められます。(ワンタッチキー、短縮ダイヤル、または [ポーズ/リダイヤル] キーであて先を指定した場合は求められません。)

- メモリー送信の場合は、ファクス送信設定の [自動リダイヤル] 設定を有効にすると、回線が使用中だったりエラーが起きた場合などに、あて先が自動的にリダイヤルされます。
- メモリー送信のときは、原稿読み取り中にメモリーが一杯になることがあります。この場合、送信を中止するか、または読み取りが完了したページまでを送信できます。
- 直接送信モードのときにインターネットファクスのあて先を指定すると、一時的にメモリー送信モードに変わります。
- ADF で紙づまりが発生した場合は、そのページは正しくスキャンされていません。直接送信モードだった場合は、つまったページから送信し直してください。メモリー送信モードだった場合は、すべてのページを送信し直してください。

#### 目 参照

- 文字入力について詳しくは、『クイックガイド』  「文字を入力する」を参照してください。
- 原稿をセットするには、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「原稿をセットする」を参照してください。
- 読み取り方法を設定するには、P.71 「読み取り方法を設定する」を参照してください。
- [内線アクセス番号] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「管理者用設定」を参照してください。
- あて先を指定するその他の方法や同報送信の方法については、P.63 「あて先を指定する」を参照してください。
- [自動リダイヤル]、[ポーズ時間] について詳しくは、P.106 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- [ファクス番号確認] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「管理者用設定」を参照してください。
- ADF でつまった紙を取り除く方法について詳しくは、『クイックガイド』  「ADF から紙づまりを取り除く」を参照してください。

## 送信をキャンセルする

ファクス送信をキャンセルする方法について説明します。

### 直接送信の場合

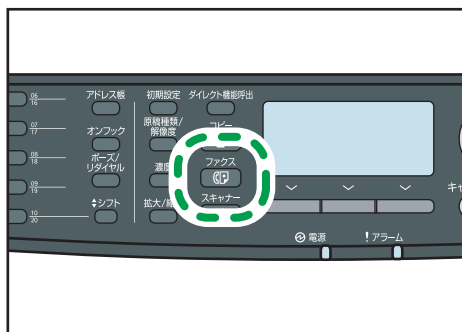
原稿の読み取り中にファクス送信をキャンセルすると、ファクス送信が即座にキャンセルされます。その場合、相手先の機械にエラーが表示されます。

### メモリー送信の場合

原稿の読み取り中にファクス送信をキャンセルすると、原稿は送信されません。送信中にファクス送信をキャンセルすると、即座にファクス送信がキャンセルされます。その場合、相手先の機械にエラーが表示されます。

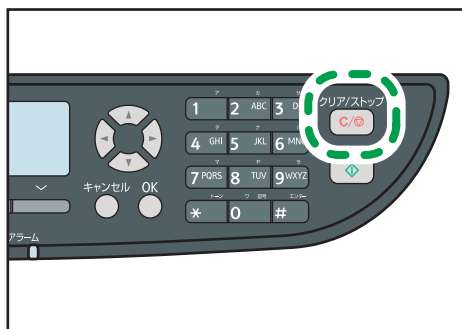


## 1. [ファクス] キーを押します。



CME022

## 2. [クリア/ストップ] キーを押します。



CME024

### ↓ 補足

- 同報送信中にファクス送信をキャンセルすると、現在送信中のあて先のみがキャンセルされます。後続のあて先には通常通り送信されます。

### 目 参照

- 同報送信機能について詳しくは、P.67「同報送信のあて先を指定する」を参照してください。

## あて先を指定する

ファクスのあて先を指定する方法について説明します。

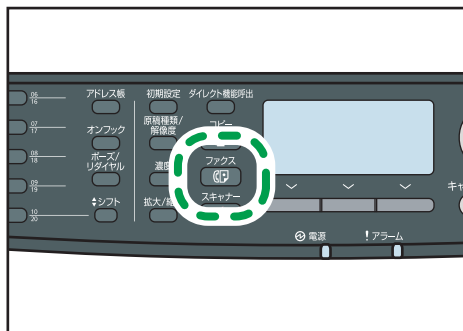
テンキーであて先を入力するほかに、以下の方法でもあて先を指定できます。

- ワンタッチキーを使う
- 短縮ダイヤルを使う
- LDAP サーバーのアドレス検索機能を使う
- 同報送信を使う
- リダイヤル機能を使う

## ワンタッチキーであて先を指定する

ワンタッチキーを使って、ワンタッチダイヤルに登録されているあて先を選択する方法について説明します。

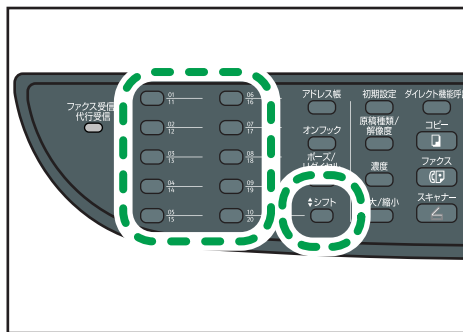
### 1. [ファクス] キーを押します。



CME022

### 2. かけたいあて先が登録されているワンタッチキーを押します。

ワンタッチダイヤルの 11～20 を使用する場合は、ワンタッチキーを押す前に [シフト] キーを押してください。



CME031

#### ↓ 補足

- レポートを印刷して、登録したあて先名およびファクス番号を確認できます。

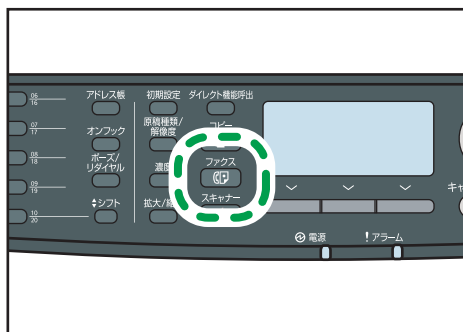
#### 目 参照

- ワンタッチダイヤルを登録する方法について詳しくは、P.51 「ファクスのあて先を登録する」を参照してください。
- ワンタッチダイヤルリストを印刷する方法について詳しくは、P.120 「リスト/レポートの印刷」を参照してください。

## 短縮ダイヤルであて先を指定する

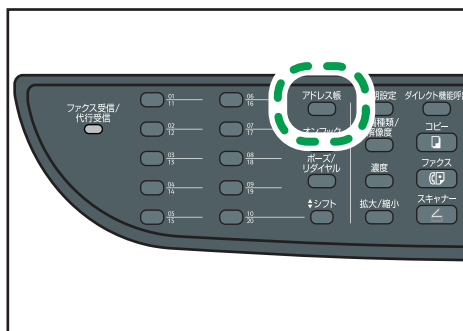
短縮ダイヤルに登録されているあて先を選択する方法について説明します。

1. [ファクス] キーを押します。



CME022

2. [アドレス帳] キーを押します。



CME029

3. [▲] [▼] キーを押して [アドレス帳検索] を選び、[OK] キーを押します。

短縮ダイヤルの番号や名前を検索したいときは、以下の手順を行ってください。

- 番号で検索する  
[アドレス帳] キーをもう一度押して、目的の番号をテンキーで入力し、[OK] キーを押します。
- 名前で検索する  
目的の名前をテンキーで入力し、[OK] キーを押します。文字を入力していくと、一致するあて先が画面に表示されます。

4. [▲] [▼] キーを押して目的の短縮ダイヤルを選び、[OK] キーを押します。

↓ 補足

- アドレス帳からは短縮ダイヤルのみ検索できます。ワンタッチダイヤルは検索できません。
- レポートを印刷して、登録したあて先名およびファクス番号を確認できます。

目 参照

- 文字入力について詳しくは、『クイックガイド』 「文字を入力する」を参照してください。

- 短縮ダイヤルを登録する方法について詳しくは、P.51「ファクスのあて先を登録する」を参照してください。
- 短縮ダイヤルリストを印刷する方法について詳しくは、P.120「リスト/レポートの印刷」を参照してください。

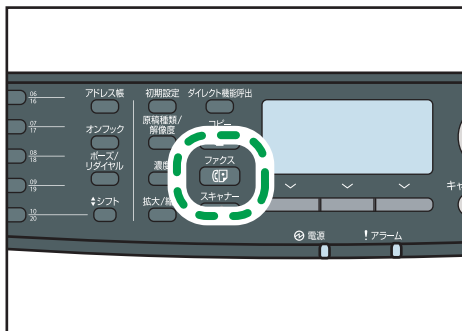
## LDAP サーバーからあて先を指定する

LDAP サーバーに登録されているあて先を指定する方法について説明します。

### ★重要

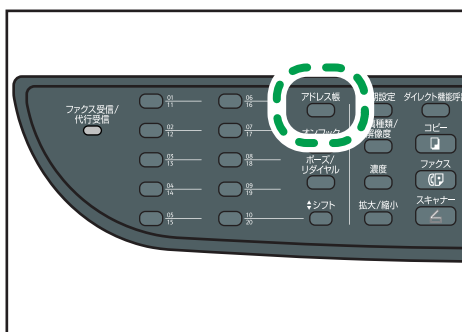
- LDAP サーバーに登録されているあて先を指定するには、あらかじめ LDAP サーバーにあて先が登録されていて、LDAP 設定で [LDAP 検索] が有効に設定されている必要があります。

### 1. [ファクス] キーを押します。



CME022

### 2. [アドレス帳] キーを押します。



CME029

3. [▲] [▼] キーを押して [LDAP 検索] を選び、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [LDAP 検索開始] を選び、[OK] キーを押します。  
検索条件に当てはまるあて先の一覧が表示されます（最大 50 件）。

## 5. あて先の一覧を [▲] [▼] キーでスクロールして、目的のあて先を [▶] キーで選択します。

選択したあて先には、チェックマークが表示されます。複数のあて先を選択できません。

選択を解除するには、もう一度 [▶] キーを押してください。

### ↓ 補足

- あらかじめ設定された検索条件に当てはまるあて先が一覧として表示されます。
- 検索されたユーザー情報に複数のあて先が登録されていた場合は、最初のあて先にファイルが送信されます。

### 📖 参照

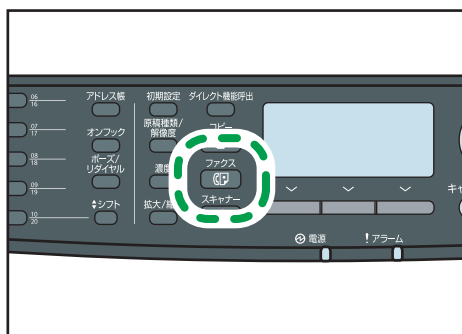
- LDAP サーバーを登録する方法について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「LDAP サーバーを登録する」を参照してください。
- LDAP アドレス検索条件を指定する方法について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「LDAP アドレス検索条件を指定する」を参照してください。

## 同報送信のあて先を指定する

同時に複数のあて先へファクスを送信できます。最大 100 件のあて先への同報送信が可能です。通常のあて先とインターネットファクスのあて先を同時に指定できます。

あて先を指定した順番で、ファクスが送信されます。

### 1. [ファクス] キーを押します。



### 2. ワンタッチキー、短縮ダイヤル、またはテンキーであて先を指定します。

- ワンタッチキー：あて先が登録されているワンタッチキーを押します。
- 短縮ダイヤル：[アドレス帳] キーを押して [アドレス帳検索] を選び、あて先を選んで [OK] キーを押します。
- テンキーのあて先：あて先の番号を入力します。番号の再入力を求められた場合は、もう一度同じ番号を入力してください。

- LDAP サーバーのあて先：「LDAP サーバーからあて先を指定する」の手順を参照してください。

### 3. [OK] キーを押します。

[リスト] を押すと、あて先を確認できます。

さらにあて先を追加するには、手順2に戻ります（テンキーであて先を追加する場合は、[番号入力] を押してください）。

#### ↓ 補足

- 複数のあて先を選択中に [クリア/ストップ] キーを押すと、すべてのあて先をキャンセルできます。
- 直接送信モードで複数のあて先を指定すると、一時的にメモリー送信モードに変わります。
- 同報送信のあて先に、通常のアて先とインターネットファクスのあて先が両方含まれている場合、インターネットファクスのあて先からファクスが送信されます。

#### 目 参照

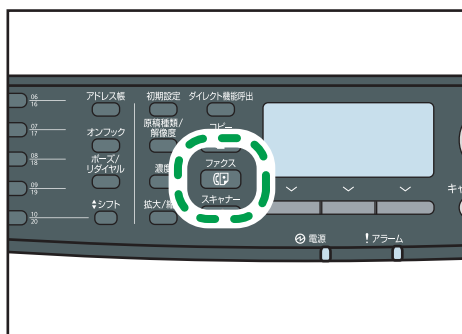
- LDAP サーバーのあて先を指定する方法については、P.66「LDAP サーバーからあて先を指定する」を参照してください。

## リダイヤル機能であて先を指定する

最後に使用したあて先を指定できます。

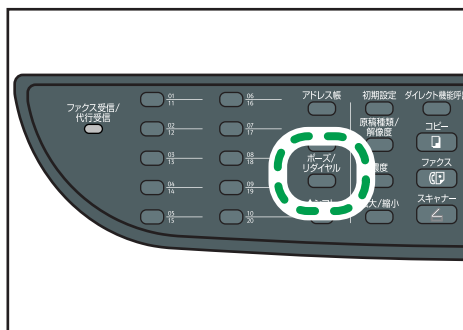
この機能は、あて先を毎回入力する必要がないため、続けて同じ番号へファクス送信するときに便利です。

### 1. [ファクス] キーを押します。



CME022

## 2. [ポーズ/リダイヤル] キーを押します。



CME032

3

## 便利な送信方法

便利なファクス機能について説明します。

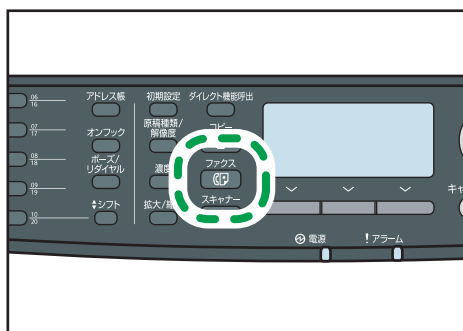
オンフックダイヤルを使うと、ファクスを送信する前に相手の状況を簡単に確認できます。外付けの電話機がある場合は、通話とファクス送信が一度の電話で行えます。

### ★重要

- この機能を使用できるのは、直接送信モードのみです。
- この機能は、インターネットファクスの送信には使用できません。
- オンフックダイヤルは、管理者用設定の [ファクス番号確認] が有効になっているときは使用できません。

オンフックダイヤルで送信する

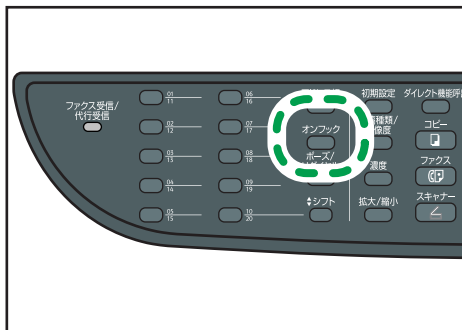
## 1. [ファクス] キーを押します。



CME022

## 2. 原稿をセットします。

3. [オンフック] キーを押します。

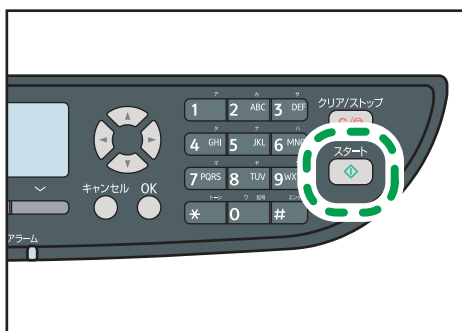


CME034

操作部の画面に「オンフック」と表示されます。

4. テンキーであて先を指定します。

5. ファクス音が聞こえたら、[スタート] キーを押します。

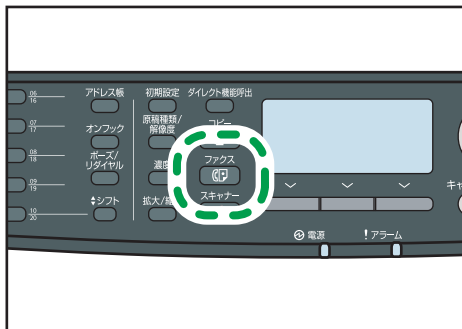


CME030

6. [送信] を押してから、[スタート] キーを押します。

通話後にファクスを送信する

1. [ファクス] キーを押します。

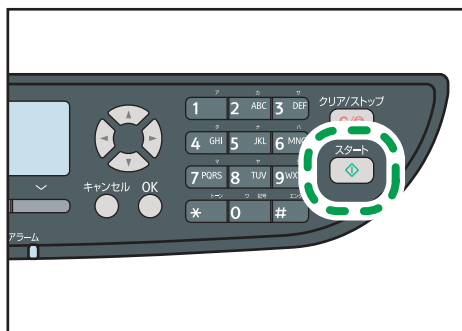


CME022

2. 原稿をセットします。



3. 外付け電話機の受話器を上げます。
4. 外付け電話機であて先をダイヤルします。
5. 相手が応答したら、ファクスのスタートボタンを押してもらいます。
6. ファクス音が聞こえたら、[スタート] キーを押します。



CME030

7. [送信] を押してから、[スタート] キーを押します。
8. 受話器を置きます。

#### 参照

- 外付け電話機の接続方法について詳しくは、P.26 「電話回線に接続する」を参照してください。
- 送信モードの選択について詳しくは、P.58 「送信モードを選択する」を参照してください。
- [ファクス番号確認] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』の「管理者用設定」を参照してください。

## 読み取り方法を設定する

濃度と解像度を調整する方法について説明します。

### 濃度を調整する

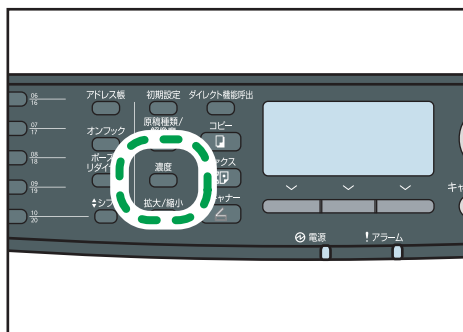
濃度の調整方法について説明します。

#### ★重要

- 常に特定の濃度で原稿を読み取りたい場合は、ファクス送信設定の[濃度]で設定を変更できます。

濃度は3段階で調整します。濃度レベルが濃くなるほど、画像が濃くなります。

## 1. [濃度] キーを押します。



CME027

## 2. [▲] [▼] キーを押して濃度を選び、[OK] キーを押します。

### ↓ 補足

- 変更を取り消して初期画面に戻るには、[キャンセル] キーを押します。
- 一時的に行った設定は、以下の場合にクリアされます。
  - 初期画面表示中、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に入力がなかった場合
  - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押した場合
  - モード変更した場合
  - 電源を切った場合
  - 設定した項目の初期値が変更された場合

### 目 参照

- [濃度] について詳しくは、P.106 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- [システムオートリセット時間設定] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 ⓘ 「管理者用設定」を参照してください。

## 解像度を設定する

解像度を設定する方法について説明します。

### ★ 重要

- 常に特定の解像度で原稿を読み取りたい場合は、ファクス送信設定の [解像度] で設定を変更できます。

解像度は3段階で調整します。

### ふつう字

文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。

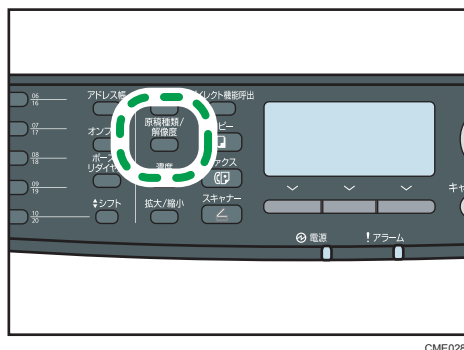
## 小さな字

文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。

## 写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

### 1. [原稿種類/解像度] キーを押します。



CME028

### 2. [▲] [▼] キーを押して解像度を選び、[OK] キーを押します。

#### ↓ 補足

- 変更を取り消して初期画面に戻るには、[キャンセル] キーを押します。
- インターネットファクス送信では、解像度で [写真] を選択していても、[小さな字] の設定で送信されます。
- 一時的に行った設定は、以下の場合にクリアされます。
  - 初期画面表示中、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に入力がなかった場合
  - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押した場合
  - モード変更した場合
  - 電源を切った場合
  - 設定した項目の初期値が変更された場合

#### 目 参照

- [解像度] について詳しくは、P.106 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- [システムオートリセット時間設定] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④ 「管理者用設定」を参照してください。

## 原稿の読み取り面を指定する

ADFを使用すると、原稿の両面を自動的に読み取りできます。ここでは、原稿に合わせて読み取り面を指定する方法を説明します。

★重要

- この機能は、直接送信モードでは使用できません。
- 常に同じ面を読み取るように設定したい場合は、ファクス送信設定の [原稿] で設定を変更できます。

1. [原稿] を押します。

2. [▲] [▼] キーを押して目的の読み取り方法を選び、[OK] キーを押します。

片面を読み取るか、両面を読み取るかを選択します。両面を読み取る場合は、原稿にあわせて用紙の向きと同じ方向を選択して下さい。

↓補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- 両面を読み取る場合は、ADF を使用して下さい。原稿ガラスでは読み取りできません。
- 一時的に行った設定は、以下の場合にクリアされます。
  - 初期画面表示中、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に入力がなかった場合
  - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押した場合
  - モード変更した場合
  - 電源を切った場合
  - 設定した項目の初期値が変更された場合

目参照

- [原稿] について詳しくは、P.106 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- [システムオートリセット時間設定] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』🔍「管理者用設定」を参照してください。

# ファクスを受信する

ファクスの受信に関する機能について説明します。

## ★重要

- 重要なファクスを受信するときは、送信者にファクスの内容を確認することをお勧めします。
- メモリーの空き容量が少ないときには、ファクスを受信できない場合があります。

## ↓補足

- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。
- 受信ファクスの印刷に使用できる用紙は、A4、Letter、Legal サイズのみです。
- 受信したファクスを印刷するとき、印刷可能範囲の中にある画像は印刷されますが、印刷可能範囲の外にある画像は印刷されません。

## 目参照

- 外付け電話機と本機の接続方法について詳しくは、P.26「電話回線に接続する」を参照してください。

## FAX/TEL（手動）モードでファクスを受信する

FAX/TEL（手動）モードでファクスを受信する基本的な操作について説明しています。

1. 電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。  
通常の通話状態になります。
2. ファクス音が聞こえたら、[ファクス] キーを押し、[スタート] キーを押します。
3. [受信] を押します。
4. [スタート] キーを押します。
5. 受話器を置きます。

## ファクス専用モードでファクスを受信する

受信モードがファクス専用モードのときは、本機はすべての着信に対して、自動的にファクス受信を開始します。

↓ 補足

- 外付け電話機を接続すると、ファクスの自動受信を開始する前に、[ファクス初期設定] の [呼び出し回数] で設定された回数の呼び出し音が外付け電話機から鳴ります。
- 呼び出し音が鳴っている間に外付け電話機で応答した場合は、通常の通話状態になります。ファクス音が聞こえたら、手動でファクス受信してください。

目 参照

- [呼び出し回数] について詳しくは、P.110 「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- ファクスの手動受信について詳しくは、P.75 「FAX/TEL (手動) モードでファクスを受信する」を参照してください。

## FAX/TEL (自動) モードでファクスを受信する

受信モードが FAX/TEL (自動) モードのときは、ファクスの場合は自動受信されます。電話の場合は外付け電話機/ハンドセットから呼び出し音が鳴ります。

1. 着信を受けると、本機は 5 秒間無音のままファクス音を検知しようとします。  
ファクス音が検知されたら、本機は自動的にファクス受信を開始します。
2. ファクス音が検知されなかった場合でも、[ファクス初期設定] の [受信モード自動切り替え時間] で設定された時間の間は、本機は引き続きファクス着信音を検知しようとします。
  - この間にファクス着信音が検知された場合や受話器が上げられなかった場合は、本機は自動的にファクス受信を開始します。
  - この間は、外付け電話機/ハンドセットから呼び出し音が鳴ります。受話器を上げると通常の通話状態になります。ファクス音が聞こえたら、手動でファクス受信してください。

↓ 補足

- ファクス初期設定の [呼出音なし受信] を無効にしている場合に本機が着信を受けると、外付け電話機/ハンドセットが最初に 1 回鳴ったあと、ファクス音の検知を始めます。

目 参照

- [受信モード自動切り替え時間]、[呼出音なし受信] について詳しくは、P.110 「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- ファクスの手動受信について詳しくは、P.75 「FAX/TEL (手動) モードでファクスを受信する」を参照してください。

## FAX/留守番 TEL モードでファクスを受信する

受信モードがFAX/留守番 TEL モードのときは、外付けの留守番電話機が応答し、電話の場合はメッセージを録音します。ファクスの場合は、自動的にファクスを受信します。

1. 着信を受けると、[ファクス初期設定] の [総呼び出し回数 (留守番 TEL)] で設定した回数の呼び出し音が鳴ります。  
外付け留守番電話機が応答しない場合は、本機は自動的にファクス受信を開始します。
2. 外付け電話機が応答した場合、本機は 30 秒間無音状態を監視します (無音検知)。
  - ファクス音が検知されたら、本機は自動的にファクス受信を開始します。
  - 音声を検知されると、通常の通話状態になります。外付け留守番電話機がメッセージを録音します。

### ↓ 補足

- 無音検知の間に、手動でファクスを受信できます。
- 外付け留守番電話機が通話を終了しても、[クリア/ストップ] キーが押されない限り、無音検知は 30 秒間継続されます。

### 目 参照

- [総呼び出し回数 (留守番 TEL)] について詳しくは、P.110 「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- ファクスの手動受信について詳しくは、P.75 「FAX/TEL (手動) モードでファクスを受信する」を参照してください。

## 電話/ファクスを切り替える

本機への着信がファクスか電話かによって、本機のモードを外付け電話機/ハンドセットから切り替えられます。

### ファクスに切り替える

受話器を上げたときにファクスの音が聞こえたら、10 秒以内に [2] を押します。  
回線がダイヤル回線の場合は 1 回、プッシュ回線のときは 2 回押します。

### 電話に切り替える

本機のスピーカーから人の声が聞こえるときは、電話がかかってきています。  
会話をするには、ファクスが応答している間に受話器を上げて、[2] を押します。  
回線がダイヤル回線の場合は 1 回、プッシュ回線のときは 2 回押します。

↓ 補足

- この機能を使うには、ファクス初期設定の [受信モードリモート切り替え] を有効にしてください。
- ご使用の回線に合わせて、プッシュかダイヤルかをファクス初期設定の [ダイヤル/プッシュリモート切り替え] で設定してください。

目 参照

- [受信モードリモート切り替え]、[ダイヤル/プッシュリモート切り替え] については、P.110 「ファクス機能初期設定」を参照してください。

## インターネットファクスを受信する

インターネットファクスの受信を自動的に行うか、または手動で行うかを設定できます。自動的に受信するには、定期的にメール（インターネットファクス）をチェックするように本機を設定します。

★ 重要

- インターネットファクスを本機で受信するためのメールアドレスは、Web Image Monitor で設定してください。POP3 設定の [ユーザーアカウント] で設定できます。
- HTML 形式のメールは受信できないことがあります。

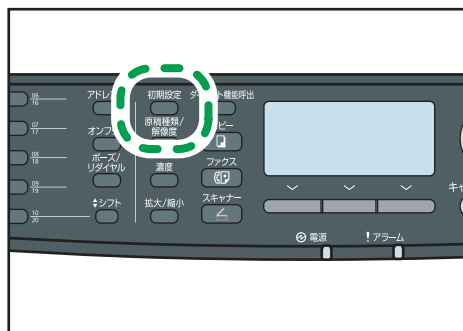
### 自動的に受信する

Web Image Monitor のインターネットファクス設定で [自動 POP] を有効に設定すると、[POP 間隔 (分)] で設定した間隔で本機が自動的に POP3 サーバーへ接続し、新しいメールをチェックします。新しいメールがあったら、自動的にダウンロードします。

### 手動で受信する

[自動 POP] を無効に設定しているときは、操作部を使って手動で POP3 サーバーに接続し、新しいメールをチェックします。

#### 1. [初期設定] キーを押します。



CME023



2. [▲] [▼] キーを押して [ファクス初期設定] を選び、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [受信設定] を選び、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [手動 POP] を選び、[OK] キーを押します。
5. 確認画面で、[はい] を押します。

新しいメールがあったら、ダウンロードを開始します。

#### ↓ 補足

- メールを受信に失敗した場合、Web Image Monitor でインターネットファクス設定の [エラー通知メール] が有効に設定されていたら、本機から送信者へエラー通知が自動的に送信します。
- [エラー通知メール] が無効のとき、またはエラー通知の送信に失敗したときは、エラーレポートが印刷されます。

#### 目 参照

- Web Image Monitor で行う設定について詳しくは、P.133 「POP3 の設定をする」と P.134 「インターネットファクスの設定をする」を参照してください。

## 受信したファクスを転送する

重要なファクスを不正に閲覧されることを防止するために、あらかじめ設定されたあて先に受信したファクスを転送できます。

#### ★ 重要

- 約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できますが、容量の大きいファクスや、大量のファクスを受信したときは、メモリーフルになるのが早まることがあります。
- [受信文書印刷] を [しない] に設定したときは、最大 80 件、もしくは約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できます。
- ファクスを受信中にメモリーがいっぱいになったときは、メモリーフルで通信エラーになります。
- メモリーフルになったときは、[受信文書印刷] を [する] に変更して、受信済みのファクス文書を出力してください。

受信ファクスの転送条件は、以下の項目で設定します。

1. 転送を有効にするには、ファクス初期設定の [受信文書設定] で [転送する] を選択します。
2. ファクス初期設定の [転送文書印刷] で、転送したファクスを印刷できるようにメモリーに蓄積するか、転送したら消去するかを設定します。
  - [する]：転送後に印刷できるよう、ファクスをメモリーに蓄積します。

- [しない]：転送したらメモリーからファクスを消去します。
3. ファクス初期設定の [受信文書印刷] で、メモリーに蓄積したファクスを自動的に印刷するか手動で印刷するかを設定します。
    - [する]：ファクスがメモリーに蓄積されたら、自動的に印刷してメモリーから消去します。
    - [しない]：ファクスがメモリーに蓄積されたら、手動で印刷するまでメモリーに保管します。
  4. ファクス初期設定の [転送結果通知] で、メールの通知設定を行います。
    - [有効]：転送したらメールで通知します。通知のあて先は、転送先の設定方法によって異なります。
    - [無効]：転送の通知を行いません。
  5. Web Image Monitor のファクス設定で、[転送先] に転送先のメールアドレスを設定します。

↓ 補足

- 転送が成功した場合と失敗した場合の処理は、本機の設定によって以下の表のように異なります。

転送	[転送文書印刷]	[受信文書印刷]	結果
成功	しない	適用外	メモリーからファクスを消去します。
成功	する	する	ファクスを印刷して、メモリーから消去します。
成功	する	しない	手動で印刷するまでファクスをメモリーに保管します。
失敗	しない	適用外	転送失敗のレポートを印刷し、ファクスを印刷して、メモリーからファクスを消去します。
失敗	する	する	転送失敗のレポートを印刷し、ファクスを印刷して、メモリーからファクスを消去します。

転送	【転送文書印刷】	【受信文書印刷】	結果
失敗	する	しない	転送失敗のレポートを印刷し、ファクスを印刷して、手動で印刷するまでファクスをメモリーに保管します。

- トナー切れや紙づまりなどのエラーでファクスを印刷できないときは、ファクスはメモリーに蓄積されたままとなり、ファクス受信/代行受信ランプが点滅します。エラーが解消されると、自動的に印刷が開始されます。
- Web Image Monitor で、転送を試みる回数と間隔を設定できます。

#### 目 参照

- 操作部で行う設定について詳しくは、P.110「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- メモリーに蓄積されたファクスを手動で印刷する方法について詳しくは、P.82「受信文書印刷設定を切り替える」を参照してください。
- 転送先、転送回数、転送間隔の設定について詳しくは、P.128「ファクスの設定をする」を参照してください。

## 受信したファクスを一時的に蓄積する

重要なファクスを不正に閲覧されることを防止するために、手動で印刷するまで受信したファクスを一時的に蓄積できます。

#### ★ 重要

- 約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できますが、容量の大きいファクスや、大量のファクスを受信したときは、メモリーフルになるのが早まることがあります。
- 【受信文書印刷】を【しない】に設定したときは、最大 80 件、もしくは約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できます。
- ファクスを受信中にメモリーがいっぱいになったときは、メモリーフルで通信エラーになります。
- メモリーフルになったときは、【受信文書印刷】を【する】に変更して、受信済みのファクス文書を出力してください。

受信ファクスを一時的に蓄積する条件は、以下の項目で設定します。

1. 受信したファクスを蓄積するには、ファクス初期設定の【受信文書設定】で【印刷する】を選択します。
2. ファクス初期設定の【受信文書印刷】で、メモリーに蓄積したファクスを自動的に印刷するか手動で印刷するかを設定します。

- [する]：ファクスがメモリーに蓄積されたら、自動的に印刷してメモリーから消去します。
- [しない]：ファクスがメモリーに蓄積されたら、手動で印刷するまでメモリーに保管します。

↓ 補足

- 印刷が正常に行われたら、ファクスはメモリーから消去されます。
- トナー切れや紙づまりなどのエラーでファクスを印刷できないときは、ファクスはメモリーに蓄積されたままとなり、ファクス受信/代行受信ランプが点滅します。エラーが解消されると、自動的に印刷が開始されます。

目 参照

- 操作部で行う設定について詳しくは、P.110「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- メモリーに蓄積されたファクスを手動で印刷する方法について詳しくは、P.82「受信文書印刷設定を切り替える」を参照してください。

## 受信文書印刷設定を切り替える

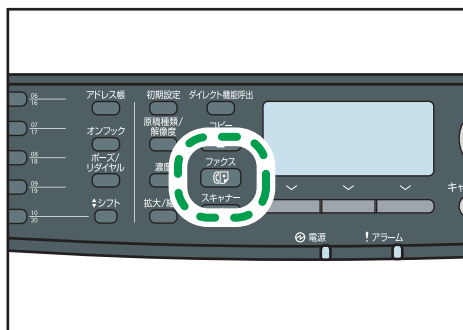
ファクス初期設定の[受信文書印刷]は、操作部の画面に表示される[受信文書]から直接変更できます。

ここでは、操作部の画面の[受信文書]から、受信文書の印刷設定を変更する手順を説明します。

★ 重要

- 約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できますが、容量の大きいファクスや、大量のファクスを受信したときは、メモリーフルになるのが早まる場合があります。
- [受信文書印刷]を[しない]に設定したときは、最大 80 件、もしくは約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できます。
- ファクスを受信中にメモリーがいっぱいになったときは、メモリーフルで通信エラーになります。
- メモリーフルになったときは、[受信文書印刷]を[する]に変更して、受信済みのファクス文書を出力してください。
- メモリーに保存されているファクスは、本機の電源が切れた状態でも約 1 時間メモリーに保持されますが、それ以上の時間が経過すると消去されます。ファクス受信/代行受信ランプが点灯か点滅をしていたら、電源を切る前に保存されているファクスを印刷してください（本機を移動する場合など）。
- ファクス受信/代行受信ランプが点灯しているときに以下の手順で[する]を選択すると、印刷待ちの状態になっているファクスが印刷されます。

## 1. [ファクス] キーを押し、[受信文書] を押します。



管理者用設定の [ダイレクト機能呼出し設定] を [ファクス自動印刷設定] に設定している場合は、[ダイレクト機能呼出] キーを押します。

## 2. [▲] [▼] キーを押して [する] か [しない] を選び、[OK] キーを押します。

- ここで変更した設定は、ファクス初期設定の [受信文書印刷] の設定にも反映されます。
- 印刷待ちの状態になっているファクスがメモリーにあるときに [する] を選択すると、ファクスは印刷されてメモリーから消去されます。

### ↓ 補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- 250 枚増設トレイ (トレイ 2) が装着されている場合は、ファクス初期設定の [給紙トレイ選択] で、どのトレイから給紙するかを設定できます。トレイ 1 とトレイ 2 を自動的に切り替えるように設定した場合は、システム初期設定の [給紙トレイ優先設定] で、どのトレイを優先的に使用するかを設定できます。
- ファクス受信/代行受信ランプが点滅していたら、トナー切れや紙づまりなどのエラーで印刷できなかったファクスがメモリーに蓄積されたままとなっています。エラーが解消されると、自動的に印刷が開始されます。

### 目 参照

- [ダイレクト機能呼出し設定] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 ⑤ 「管理者用設定」を参照してください。
- [受信文書印刷] について詳しくは、P.110 「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- [給紙トレイ選択] について詳しくは、P.110 「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- [給紙トレイ優先設定] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 ⑤ 「システム初期設定」を参照してください。

## 特定の相手先からのファクスを制限する

ファクスの相手先を特定相手先として登録し、その相手先からのファクスを制限（受信か拒否）できます。

間違いファクスやいたずらファクスで用紙をむだに使うことを防止したいときに便利です。

この機能を使うには、Web Image Monitor で特定相手先を登録して、受信か拒否の設定をします。

### ★重要

- この機能は、インターネットファクスの受信では使用できません。

## 特定相手先を登録する

特定相手先を登録する方法について説明します。

最大 30 件の特定相手先を設定できます。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http://（本機の IP アドレス）/"と入力して本機にアクセスします。
2. [特定相手先] をクリックします。

No.	特定相手先番号
<input type="radio"/> 01	
<input type="radio"/> 02	
<input type="radio"/> 03	
<input type="radio"/> 04	
<input type="radio"/> 05	

3. [宛先種別] から、[特定相手先] を選びます。

特定相手先設定

■ 特定相手先No. : [dropdown]

■ 特定相手先番号 : [input field]

管理者パスワードを入力してください。  
[password input field]

[OK] [キャンセル]

4. リストから登録番号を選びます (1~30)。
5. 特定相手先のファクス番号を入力します (半角英数字で最大 20 桁)。
6. 必要な場合は、管理者のパスワードを入力してください。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

#### ↓ 補足

- ファクス番号には、0~9 までの数字、「+」、およびスペースが使用できます。

3

## 特定相手先からのファクスを制限する

特定相手先からのファクスを制限 (受信か拒否) する方法について説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
2. [システム初期設定] をクリックします。
3. [ファクス] タブをクリックします。

システム初期設定

登録履歴閲覧 | 用紙設定 | コピー | **ファクス** | 優先レイ | トナーセーブ | インターフェースの覚え書開閉 | ざいれく検印押出し

転送履歴閲覧  
 ● 転送履歴選択 : トレイ1

ファクス番号確認  
 ● ファクス番号確認 : 無効

ファクス受信文書処理  
 ● 受信文書処理 : ● 印刷する ○ 転送  
 ● 自動印刷 : ● 適用する ○ 適用しない  
 ● 転送文書印刷 : ○ 適用する ● 適用しない  
 ● 転送結果通知 : ○ 適用する ● 適用しない  
 ● 転送先  
 ● メールアドレス :  
 ○ スキャナー宛先 : 9999999999999999  
 ● 転送回数(回) : 145 (1-255)  
 ● 転送間隔(分) : 30 (1-255)

迷惑ファクス防止設定  
 ● 迷惑ファクス防止設定 : ○ 適用する ● 適用しない  
 ● 受信条件 : ● 特定相手先 ○ 特定相手先以外

管理者パスワードを入力してください。

OK キャンセル

4. [迷惑ファクス防止設定] で、[適用する] をクリックします。
5. [受信条件] で、[特定相手先] か [特定相手先以外] をクリックします。

- 特定相手先  
 特定相手先からのファクスだけを受信し、それ以外の相手先からのファクスを拒否します。
- 特定相手先以外  
 特定相手先からのファクスを拒否し、それ以外の相手先からのファクスだけを受信します。

6. 必要な場合は、管理者のパスワードを入力してください。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。



## 電源断レポートが印刷されたとき

ファクスの送信中や受信中に、停電などによって本機の電源が切られると、送信や受信は正常に行われません。また、電源が入っていない状態で約1時間経過すると、メモリーに蓄積されているファクスは消去されます。

電源断レポートでは、送信や受信が正常に出来なかったファクスや、メモリーから消去されたファクスを確認できます。

送信できていなかったファクスがあったときは、もう一度送信し直してください。

受信できていなかったファクスがあったときは、相手先に送信のし直しを依頼してください。

### ↓ 補足

- 電源断レポートが印刷されたときは、電源プラグを差し込み、電源を約24時間入れたままにしてください。次に停電したり電源を切ったりしたとき、メモリーに蓄積されている内容を約1時間保持するための充電を行います。

### 目 参照

- 電源の入れ方について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「電源を入れる」を参照してください。



## 4. パソコンからファクス機能を活用する (PC ファクス)

パソコンから利用できる本機のファクス機能について説明します。

Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機を經由して、紙に出力せずに直接相手のファクスへ送信できます。

### PC ファクスのアドレス帳を設定する

PC ファクスのアドレス帳について説明します。PC ファクスのアドレス帳は、パソコンで設定します。PC ファクスのアドレス帳にあて先を登録しておくと、ファクスを送信するときに、あて先をすばやく簡単に指定できます。

PC ファクスのアドレス帳には、個別のあて先と、複数のあて先をまとめたグループを、合わせて最大 1000 件登録できます。

#### ↓ 補足

- ご使用のパソコンに設定されたユーザーごとに、それぞれ独自のアドレス帳を設定できます。
- 必要に応じて、アドレス帳をインポートしたりエクスポートしたりできます。

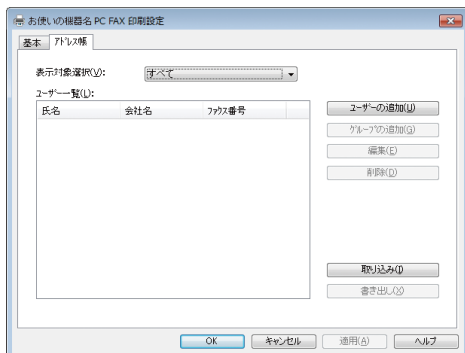
### PC ファクスのアドレス帳を開く

PC ファクスのアドレス帳の開き方について説明します。

#### ★ 重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。
1. [スタート] の [デバイスとプリンター] をクリックします。
  2. お使いの機器名のアイコンを右クリックし、[印刷設定] から PC ファクスドライバをクリックします。

### 3. [アドレス帳] タブをクリックします。



4

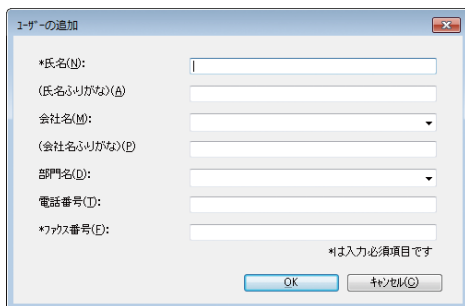
#### ↓ 補足

- 実際の表示の方法はご使用の OS によって多少異なります。
- [表示対象選択:] リストで、表示するあて先の種類を選択できます。
  - [すべて]: すべてのあて先を表示します。
  - [グループ]: グループとして登録されたあて先だけを表示します。
  - [ユーザー]: 個別のあて先だけを表示します。

## あて先を登録する

PC ファクスのアドレス帳にあて先を登録する方法について説明します。

### 1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザーの追加] をクリックします。



### 2. 必要な情報を登録し、[OK] をクリックします。

設定項目について詳しくは、次の表をご覧ください。

#### PC ファクスのあて先設定

項目	設定	説明
氏名:	必須	あて先の名前です。半角/全角で 32 文字まで入力できます。

項目	設定	説明
(氏名ふりがな)	任意	あて先の名前のふりがなです。半角/全角で 32 文字まで入力できます。
会社名：	任意	あて先の会社名です。半角/全角で 64 文字まで入力できます。すでに登録されているものから選択することもできます。
(会社名ふりがな)	任意	会社名のふりがなです。半角/全角で 64 文字まで入力できます。
部門名：	任意	あて先の部門名です。半角/全角で 64 文字まで入力できます。すでに登録されているものから選択することもできます。
電話番号：	任意	あて先の電話番号です。半角英数字で 40 桁まで入力できます。
ファクス番号：	必須	あて先のファクス番号です。半角英数字で 40 桁まで入力できます。

#### ↓ 補足

- 電話番号、ファクス番号には、0～9 までの数字、「P」（ポーズ）、「\*」、「#」、「-」、およびスペースが使用できます。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信の設定の [ポーズ時間] で設定できます。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「\*」を入れます。「\*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。
- 入力された名前がすでに登録されている場合は、確認のダイアログが表示されます。別の名前で登録する場合は [いいえ] をクリックして、名前を入力し直してください。[はい] をクリックすると、同じ名前のまま、別のあて先として登録できます。
- すでに登録されているあて先の一部を編集して、新規のあて先として登録することもできます。

#### 目 参照

- [ポーズ時間] について詳しくは、P.106 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- すでに登録されているあて先の一部を編集して新規のあて先として登録する方法について詳しくは、P.92 「あて先を修正する」を参照してください。

## あて先を修正する

登録したあて先を修正する方法について説明します。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザー一覧:] から修正するあて先を選択して、[編集] をクリックします。

ユーザーの編集

\*氏名(N): 佐藤一郎

(氏名ふりがな)(A) さとう いちろう

会社名(M): 株式会社A

(会社名ふりがな)(E) かぶしがいしゃA

部門名(D): 横浜営業所

電話番号(F): 082224444

\*ファクス番号(G): 082225555

※は入力必須項目です

別ユーザーとして登録(S) OK キャンセル(Q)

2. 必要に応じて設定を修正し、[OK] をクリックします。

設定を部分的に修正して [別ユーザーとして登録] をクリックし、新規のあて先として登録することもできます。似たあて先を続けていくつか登録するときに便利です。元のあて先を変更せずに残しておく場合は、最後に [キャンセル] をクリックして、ダイアログを閉じます。

### ↓ 補足

- 修正した名前がすでに登録されている場合は、確認のダイアログが表示されます。別の名前で登録する場合は [いいえ] をクリックして、名前を入力し直してください。[はい] をクリックすると、同じ名前のまま、別のあて先として登録できます。

## グループを登録する

すでに登録されているあて先を、グループにまとめる方法について説明します。

ひとつのグループには、最大 100 件のあて先を登録できます。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[グループの追加] をクリックします。

グループの追加

グループ名(G)

グループ名で先一覧(F1)

氏名	会社名	ファクス番号
佐藤一郎	株式会社A	082225555
鈴木二郎	株式会社B	081111111
田中三郎	株式会社C	043333333

← 追加(A)

一覧から選択(F2)

OK キャンセル(Q)

2. [グループ名] にグループ名を入力します。

### 3. [ユーザー一覧:] からグループに登録するあて先を選択し、[追加] をクリックします。

グループからあて先を削除するには、[グループあて先一覧:] から削除するあて先を選択し、[一覧から削除] をクリックします。

### 4. [OK] をクリックします。

#### ↓ 補足

- グループには、最低ひとつのあて先を登録してください。
- グループ名をつけずに、グループを登録することはできません。また、すでに登録されているグループと同じ名前のグループは登録できません。
- ひとつのあて先を、複数のグループに登録できます。

## グループを修正する

登録したグループを修正する方法について説明します。

### 1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザー一覧:] から編集するグループを選択して、[編集] をクリックします。



### 2. あて先を追加するには、[ユーザー一覧:] からグループに追加するあて先を選択し、[追加] をクリックします。

### 3. グループからあて先を削除するには、[グループあて先一覧:] から削除するあて先を選択し、[一覧から削除] をクリックします。

### 4. [OK] をクリックします。

#### ↓ 補足

- 修正したグループ名がすでに登録されている場合は、確認のダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、別の名前登録してください。

## あて先やグループを削除する

PC ファクスのアドレス帳に登録されているあて先やグループを削除する方法について説明します。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザー一覧:] から、削除するあて先やグループを選択して、[削除] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

2. [はい] をクリックします。

↓ 補足

- グループに登録されているあて先を削除すると、そのあて先はグループからも削除されます。グループに登録されているあて先がなくなってしまう場合は、そのグループ自体を削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。削除する場合は [OK] をクリックします。
- グループを削除しても、そのグループに登録されていたあて先は削除されません。

## PC ファクスのアドレス帳をエクスポート/インポートする

PC ファクスのアドレス帳をエクスポートしたりインポートしたりする方法について説明します。

★ 重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。

### PC ファクスのアドレス帳をエクスポートする

PC ファクスのアドレス帳データを CSV (Comma Separated Values) 形式のファイルにエクスポートできます。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[書き出し] をクリックします。
2. 保存先とファイル名を指定して、[保存] をクリックします。

### PC ファクスのアドレス帳にデータをインポートする

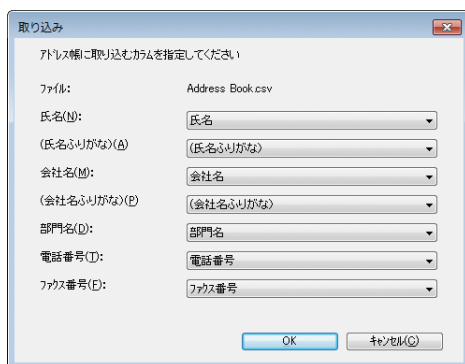
CSV 形式のファイルから、アドレス帳のデータをインポートできます。CSV 形式のファイルに保存されていれば、他のアプリケーションなどのアドレス帳もインポートできます。

他のアプリケーションのアドレス帳をインポートするときは、インポートする項目を設定してください。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[取り込み] をクリックします。
2. インポートするファイルを選択して、[開く] をクリックします。

インポートする項目を選択する画面が表示されます。





### 3. それぞれの設定項目に適切なデータがインポートされるように、右側のリストでインポートする項目を選択します。

インポートするデータがない設定項目には、[\*空欄\*]を選択してください。ただし、[氏名:]と[ファクス番号:]には[\*空欄\*]を選択できません。

### 4. [OK] をクリックします。

インポート中に、同じ名前のあるものがPCファクスのアドレス帳に見つかった場合は、次のいずれかの操作をしてください。

- [登録しない]：現在のあて先をインポートせずに、残りのデータをインポートします。
- [別ユーザーとして登録]：現在のあて先を、同じ名前のまま別のあて先としてインポートします。
- [すべて別ユーザーとして登録]：同じ名前のまま、すべてのあて先を別のあて先としてインポートします。
- [上書き登録]：現在のあて先の情報で、PCファクスのアドレス帳に登録されている情報を上書きします。
- [すべて上書き登録]：PCファクスのアドレス帳に登録されている情報を、すべて上書きします。
- [キャンセル]：インポートを中止します。

あて先に名前がなかったり、電話番号やファクス番号に使用できない文字が使用されていたりしたら、次のいずれかの操作をしてください。

- [登録しない]：現在のあて先をインポートせずに、残りのデータをインポートします。
- [登録する]：現在のあて先をそのままインポートします。
- [すべて登録する]：すべてのあて先をそのままインポートします。
- [キャンセル]：インポートを中止します。

#### ↓ 補足

- エクスポートされたCSVファイルは、Unicode形式のファイルとして保存されます。

- アドレス帳のデータは、Unicode か ASCII コード形式で保存された CSV ファイルからインポートできます。
- グループの情報は、エクスポート/インポートできません。
- PC ファクスのアドレス帳の登録件数は、最大 1000 件です。インポート中にそれを超えた場合、残りのあて先はインポートされません。

## 基本的な PC ファクスの送り方

PC ファクスの基本的な送信の仕方について説明します。

あて先は、PC ファクスのアドレス帳から選択するか、ファクス番号を直接入力して指定します。一度に、最大 100 件のあて先を指定してファクスを送信できます。

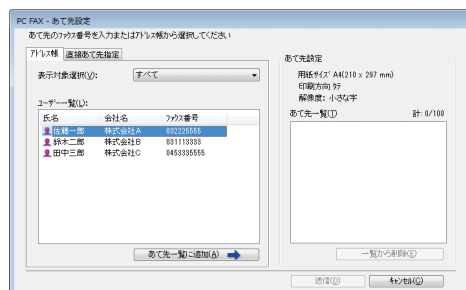
### ★重要

- 本機は、PC ファクスを送信する前に、一旦すべてのデータをメモリーに読み込みます。読み込み中にメモリーが一杯になると、ファクスの送信はキャンセルされます。この場合、解像度を下げるか、ページ数を減らして再度送信してください。
- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。

1. 送信するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷...] をクリックします。
3. プリンターの一覧から PC ファクスドライバを選択し、[OK] をクリックします。

必要に応じて、[OK] をクリックする前に、PC ファクスドライバのプロパティで送信設定を行ってください。

4. PC ファクスのアドレス帳からあて先を選択する場合は、[ユーザー一覧:] であて先を選択し、[あて先一覧に追加] をクリックします。





あて先を複数指定する場合は、この手順を繰り返してください。

5. ファクス番号を直接入力する場合は、[直接あて先指定] タブをクリックして、[ファクス番号:] にファクス番号（最大 40 桁）を入力し、[あて先一覧に追加] をクリックします。
6. 送付状を添付したいときは、[直接あて先指定] タブの [送付状編集] をクリックし、[送付状を添付する] をクリックします。  
送付状の内容を編集し、[OK] をクリックしてください。
7. [送信] をクリックします。

↓ 補足

- 電話番号、ファクス番号には、0～9 までの数字、「P」（ポーズ）、「\*」、「#」、「-」、およびスペースが使用できます。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信の設定の [ポーズ時間] で設定できます。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「\*」を入れます。「\*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。
- 指定したあて先を削除するには、[あて先一覧] であて先を選択し、[一覧から削除] をクリックしてください。
- [直接あて先指定] タブで直接入力したファクス番号は、PC ファクスのアドレス帳に登録できます。あて先の登録画面は、[アドレス帳に登録] をクリックすると表示されます。
- [表示対象選択:] リストで、表示するあて先の種類を選択できます。
  - [すべて]: すべてのあて先を表示します。
  - [グループ]: グループとして登録されたあて先だけを表示します。
  - [ユーザー]: 個別のあて先だけを表示します。
- PC ファクスの送信が制限されているときは、送信する前に PC ファクスドライバーのプロパティでユーザーコードを入力してください。
- LDAP 認証が設定されている場合は、送信する前に PC ファクスドライバーのプロパティでユーザー認証を有効にして、機器へのログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。

目 参照

- PC ファクスの送信設定を変更する方法については、P.103 「PC ファクスの送信設定を変更する」を参照してください。
- [ポーズ時間] については、P.106 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- 送付状の編集については、P.100 「PC ファクスの送付状を編集する」を参照してください。
- ユーザーコードの入力については、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「使用できる機能が制限されているとき」を参照してください。
- ユーザー認証を有効にして、ログインユーザー名とログインパスワードを入力する方法については、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「LDAP 認証が設定されているとき」を参照して下さい。

## 送信をキャンセルする

ジョブの状態により、本機の操作部やパソコンから送信をキャンセルできます。

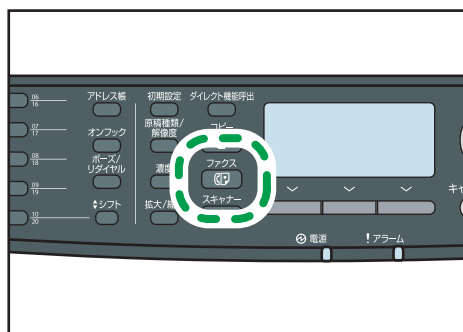
パソコンから本機に受信中のファクスをキャンセルする

1. パソコンのタスクバーでプリンターのアイコンを右クリックして、お使いの機器名をクリックします。
2. キャンセルするジョブを右クリックして、[キャンセル] をクリックします。
3. [はい] をクリックします。

送信中のファクスをキャンセルする

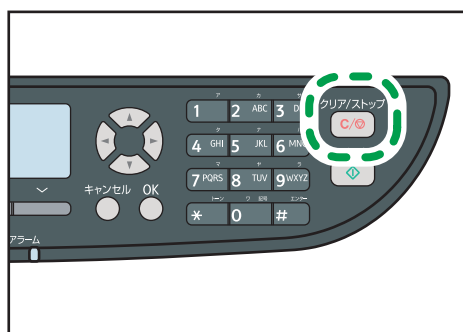
操作部を使用してファクス送信をキャンセルする方法について説明します。

1. [ファクス] キーを押します。



CME022

2. [クリア/ストップ] キーを押します。



CME024

### ↓ 補足

- 複数のパソコンで本機を共有している場合は、他のユーザーのプリントジョブを中止しないよう注意してください。

## PC ファクスの送付状を編集する

PC ファクスドライバーのあて先設定画面で、PC ファクスの送付状を編集する方法について説明します。

### ★重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。

1. 送信するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷...] をクリックします。
3. プリンターの一覧から PC ファクスドライバーを選択し、[OK] をクリックします。
4. [直接あて先指定] タブをクリックし、[送付状編集] をクリックします。
5. 送付状の内容を設定して、[OK] をクリックします。

送付状を添付するには、[送付状を添付する] を選択してください。

### 目参照

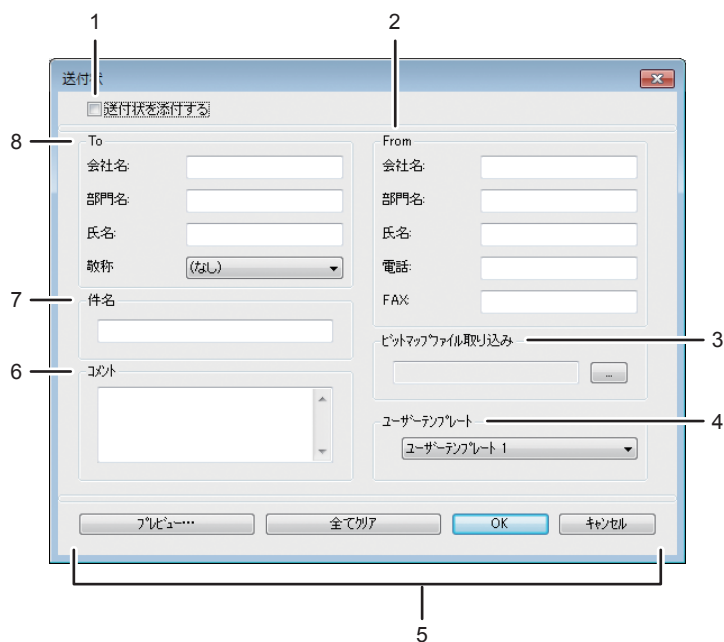
- 設定内容について詳しくは、P.100 「PC ファクス送付状で設定できる項目」を参照してください。

---

## PC ファクス送付状で設定できる項目

---

PC ファクス送付状で設定できる項目について説明します。



CME211

### 1. 送付状を添付する

送付状をつけて送信する場合にチェックします。

### 2. From

発信元として送信する情報を入力します。空欄にした項目は印刷されません。それぞれ 64 文字まで入力できます。

- 会社名：  
ご自分の会社名を入力します。
- 部門名：  
ご自分の部門名を入力します。
- 氏名：  
ご自分の氏名を入力します。
- 電話：  
ご自分の電話番号を入力します。
- FAX：  
ご自分のファクス番号を入力します。

### 3. ビットマップファイル取り込み

送付状に画像を挿入する場合に、画像（ビットマップ形式）を指定します。

画像は左 180 ピクセル、右 800 ピクセル、上 50 ピクセル、下 180 ピクセルの位置に挿入されます。画像がこのエリアより大きい場合、はみ出した部分はトリミングされます。

### 4. ユーザーテンプレート

送付状のフォーマットを選択します。

#### 5. ボタン

- プレビュー・・・  
送付状をプレビュー画面に表示します。
- 全てクリア  
編集した内容をすべてクリアします。
- OK  
編集を終了します。
- キャンセル  
編集をキャンセルします。

#### 6. コメント

送付状に印刷するメッセージを入力します。  
256 文字まで入力できます。

#### 7. 件名

件名を入力します。  
半角 64 文字/全角 32 文字まで入力できます。

#### 8. To

送信先の情報を入力します。空欄にした項目は印刷されません。それぞれ 64 文字まで入力できます。

- 会社名：  
送信先の会社名を入力します。
- 部門名：  
送信先の部門名を入力します。
- 氏名：  
送信先の氏名を入力します。
- 敬称  
敬称を追加する場合は、「御中」、「殿」、「様」から選択します。



# PC ファクスの送信設定を変更する

PC ファクスの送信設定を変更する方法について説明します。

プロパティは、アプリケーションごとに設定します。

## ★重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。

1. 送信するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷...] をクリックします。
3. プリンターの一覧から PC ファクスドライバーを選択し、[詳細設定]、[プロパティ] など、プロパティを表示するボタンをクリックします。

PC ファクスのプロパティが表示されます。

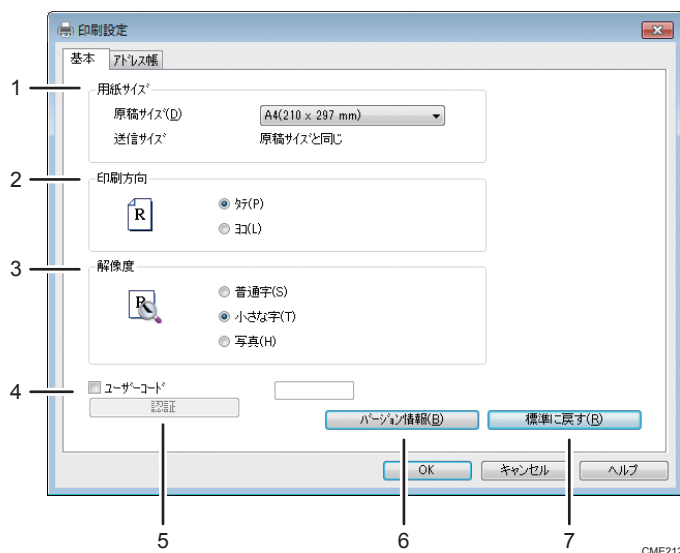
4. 基本タブで送信設定を変更して、[OK] をクリックします。

## 目 参照

- 設定内容について詳しくは、P.103 「PC ファクスの送信設定で設定できる項目」を参照してください。

## PC ファクスの送信設定で設定できる項目

PC ファクスの送信設定について説明します。



## 1. 用紙サイズ

用紙サイズを設定します。

- 原稿サイズ

送信しようとしている文書の用紙サイズを設定します。アプリケーションで用紙サイズが設定されている場合はアプリケーションの設定が有効になりますが、アプリケーションで設定されない場合は、ここでの設定が有効になります。

- 送信サイズ

実際に送信されるファクスの用紙サイズが表示されます。

原稿サイズが A4、Letter、または Legal の場合は [原稿サイズと同じ] が表示されます。

原稿サイズが A3、または B4 の場合は、[A4 に縮小] が表示されます。

## 2. 印刷方向

ページの向きを設定します。

## 3. 解像度

解像度を設定します。

- 普通字

文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。

- 小さな字

文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。

- 写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

## 4. ユーザーコード

PC ファクスの送信が制限されているときは、ファクスを送信する前にチェックボックスをクリックして、ユーザーコードを入力します。

## 5. 認証

LDAP 認証が設定されている場合は、ファクスを送信する前にこのボタンをクリックして、機器へのログインユーザー名とログインパスワードを入力します。

PC ファクスドライバーの初期設定ですでにログインユーザー名とログインパスワードが入力されている場合は、再度入力する必要はありません。

## 6. バージョン情報

ドライバーのバージョンを表示します。

## 7. 標準に戻す

すべての設定を初期設定に戻します。

### ↓ 補足

- ここでの設定は、現在のアプリケーションだけに有効です。

### 目 参照

- PC ファクスドライバーの初期設定に LDAP 認証のログインユーザー名とログインパスワードを入力する方法については、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』<sup>④</sup>「LDAP 認証が設定されているとき」を参照して下さい。

# 5. 操作部でファクスの設定をする

操作部を使ってファクス機能の設定を変更したり調整したりする方法について説明します。

本機は初期設定でも使用できますが、ご使用の状況に合わせて設定を変更できます。本機の電源を切っても設定の変更は保存されます。

## 操作部で設定できる機能

操作部から以下の機能を設定できます。

詳しい設定方法と、各機能の設定項目については、それぞれの該当箇所を参照してください。

本機のモードによって、設定メニューを表示する方法が異なります。

### ★重要

- 一部の項目は、Web Image Monitor からでも設定できます。

#### ファクス送信の設定

P.106 「ファクス送信の設定」

#### ファクス機能初期設定

P.110 「ファクス機能初期設定」

#### ファクスアドレス帳設定

P.118 「ファクスアドレス帳の設定」

### ↓補足

- LDAP 認証が設定されているときは、ログインユーザーネームとログインパスワードを入力して、機器にログインしてください。

### 目参照

- Web Image Monitor で行う本機の設定について詳しくは、P.125 「Web Image Monitor を使う」を参照してください。
- 機器にログインする方法について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』🔍 「LDAP 認証が設定されているとき」を参照してください。

## ファクス送信の設定

ファクス送信の設定方法について説明します。

この機能のメインメニューには、以下の項目が含まれます。

ファクス送信機能の設定（[◀] [▶] キーから設定）

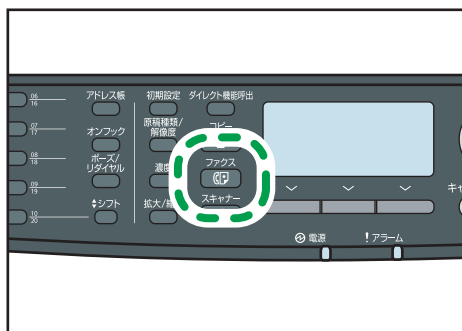
直接送信
解像度
濃度
ポーズ時間
自動リダイヤル
発信元情報印字
原稿

5

### ファクス送信の設定を変更する

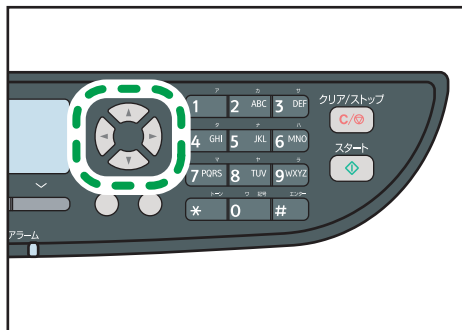
ここでは例として、解像度の設定手順を説明します。

1. [ファクス] キーを押します。



CME022

## 2. [◀] [▶] キーを押します。



CME033

## 3. [▲] [▼] キーを押して [解像度] を選び、[OK] キーを押します。

## 4. [▲] [▼] を押して好みの解像度を選び、[OK] キーを押します。

## 5. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

### ↓ 補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

5

## ファクス送信設定の項目

ファクス送信設定の項目について説明します。

### 直接送信

原稿を読み取りながらファクスを送信します。

初期設定：[しない]

- しない  
メモリー送信のときに選択します。
- する  
直接通信のときに選択します。
- 次の送信のみ  
次の送信に限定して、直接送信を使いたいときに選択します。

### 解像度

解像度を設定します。

インターネットファクス送信では、解像度で [写真] を選択していても、[小さな字] の設定で送信されます。

初期設定：[ふつう字]

- ふつう字

文字の大きさが普通原稿に適した設定で読み取ります。

- 小さな字

文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。

- 写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

## 濃度

濃度を設定します。

初期設定：[ふつう]

- うすく
- ふつう
- こく

## ポーズ時間

ファクス番号の途中にポーズが入力された箇所で、ダイヤルをポーズする時間を設定します。

初期設定：3 秒

- 1～15 秒、1 秒単位

## 自動リダイヤル

ファクス送信モードがメモリー送信のとき、回線が使用中だったりエラーが起きた場合などに、あて先を自動的にリダイヤルするようにします。リダイヤルは、5 分間隔で 3 回行われます。

初期設定：[する]

- しない
- する

## 発信元情報印字

送信するすべてのファクスにヘッダーを追加します。ヘッダーには、日付と時刻、本機に登録した名称と番号、ジョブ ID およびページが表示されます。

初期設定：[する]

- しない
- する

## 原稿

原稿の片面を読み取るか、両面を読み取るかを設定します。両面を読み取る場合は、用紙の向きと同じ方向に応じた設定を選択してください。両面原稿を読み取るには、ADF を使用します。

初期設定：[片面]

- 片面

片面原稿を読み取る時に選択します。

- 両面タテ：左右ひらき

用紙の向きが縦、とじ方向が左右開きの両面原稿を読み取る時に選択します。

- 両面タテ：上下ひらき

用紙の向きが縦、とじ方向が上下開きの両面原稿を読み取る時に選択します。

- 両面ヨコ：左右ひらき

用紙の向きが横、とじ方向が左右開きの両面原稿を読み取る時に選択します。

- 両面ヨコ：上下ひらき

用紙の向きが横、とじ方向が上下開きの両面原稿を読み取る時に選択します。

## ファクス機能初期設定

ファクス機能の設定方法について説明します。

この機能のメインメニューには、以下の項目が含まれます。

ファクス初期設定（[初期設定] キーから設定）

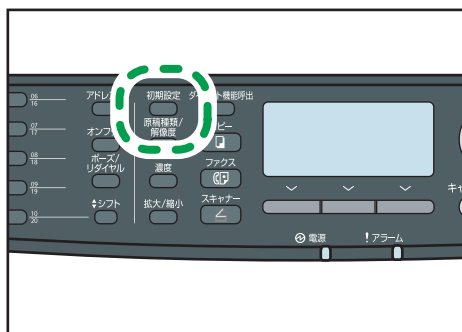
受信設定
給紙トレイ選択
送信待機文書削除
通信設定
レポート印刷設定

### 5

## ファクス初期設定を変更する

ここでは例として、トレイの設定手順を説明します。

### 1. [初期設定] キーを押します。



CME023

2. [▲] [▼] キーを押して [ファクス初期設定] を選び、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [給紙トレイ選択] を選び、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押してトレイを選び、[OK] キーを押します。
5. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

#### ↓ 補足

- [キャンセル] キーを押すと、前のメニューに戻ります。



## ファクス初期設定項目

ファクス初期設定項目について説明します。

### 受信設定

ファクス受信の設定をします。

- 受信モード切り替え

受信モードを設定します。

初期設定：[ファクス専用]

- ファクス専用

すべての着信に対して、自動的にファクス受信を開始します。外付け電話機を接続していた場合、ファクスの自動受信を開始する前に、[呼び出し回数]で設定された回数の呼び出し音が外付け電話機から鳴ります。

- FAX/TEL（手動）

電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。ファクスが送られてきていたら、手動で受信します。

- FAX/留守番 TEL

電話がかかってきたら、外付け留守番電話が応答します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。

- FAX/TEL（自動）

電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。

- 総呼び出し回数（留守番 TEL）

ファクス/留守番電話モードのときに、本機がファクス受信を開始する前に留守番電話機の呼び出し音が鳴る回数を設定します。

初期設定：5回

- 1～20回、1回単位

- 自動縮小

受信したファクスのサイズが大きすぎて1枚の用紙に印刷できない場合に、サイズを縮小します。

サイズは74%まで縮小されます。それ以上縮小しなければ1枚の用紙に印刷できない場合は、縮小されずに別々の用紙に印刷されます。

初期設定：[する]

- しない

- する

- 呼び出し回数

ファクス専用モードで外付け電話機を接続しているときに、本機がファクス受信を開始する前に外付け電話機の呼び出し音が鳴る回数を設定します。

初期設定：1 回

- 1～5 回、1 回単位

- 受信モード自動切り替え時間

FAX/TEL（自動）モードのときに、本機がファクス音を検知しようとする時間を設定します。

初期設定：15 秒

- 5～99 秒、1 秒単位

- ナンバーディスプレイ

本機はナンバーディスプレイに対応していません。ナンバーディスプレイを契約している回線に本機を接続して FAX 受信を行う場合は、この設定を [契約している] に変更してください。

初期設定：[契約していない]

- 契約していない
- 契約している

- 呼出音なし受信

ファクス専用モードか FAX/TEL（自動）モードで着信を受けたときに、外付け電話機/ハンドセットから呼び出し音を鳴らすかどうかを設定します。

なお、1300 Hz 着信に対しては、常に呼び出し音は鳴りません。

初期設定：[有効]

- 無効  
外付け電話機/ハンドセットから呼び出し音を鳴らします。

- 有効  
呼び出し音を鳴らしません。（メモリー不足などでファクスの受信が正常にできない場合は、呼び出し音が鳴ります。）

- 受信モードリモート切り替え

本機のモードを外付け電話機/ハンドセットから切り替えられるように設定します。この機能を有効にすると、受話器を上げて [2] を押すことで電話とファクスの切り替えができます。

初期設定：[有効]

- 無効
- 有効

- ダイヤル/プッシュリモート切り替え

電話回線の種類を設定します。

受信モードリモート切り替えを行う際に、回線がダイヤル回線の場合は [2] を 1 回、プッシュ回線のときは 2 回押します。

初期設定：[プッシュ]

- プッシュ
- ダイヤル (10PPS)
- ダイヤル (20PPS)
- 迷惑ファクス防止設定

特定相手先として登録した相手先からのファクスを制限します。間違いファクスやいたずらファクスで用紙をむだに使うことを防止したいときに設定します。

初期設定：[無効]

- 有効
- 無効
- 迷惑ファクス防止：受信条件

特定相手先からのファクスを受信するか拒否するかを設定します。

[迷惑ファクス防止設定] を有効にしているときに表示されます。

初期設定：[特定相手先]

- 特定相手先  
特定相手先からのファクスだけを受信し、それ以外の相手先からのファクスを拒否します。
- 特定相手先以外  
特定相手先からのファクスを拒否し、それ以外の相手先からのファクスだけを受信します。
- 受信文書設定

受信したファクスを印刷するために一時的にメモリーに蓄積するか、あらかじめ設定されたあて先に転送するかを設定します。

転送のあて先は、Web Image Monitor で設定します (詳しくは P.128 「ファクスの設定をする」を参照してください)。

初期設定：[印刷する]

- 印刷する
- 転送する
- 受信文書印刷

メモリーに蓄積したファクスを自動的に印刷するか手動で印刷するかを設定します。

初期設定：[する]

- しない

ファクスがメモリーに蓄積されたら、手動で印刷するまでメモリーに保管します。

最大 80 件、もしくは約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できます。

- する

ファクスがメモリーに蓄積されたら、自動的に印刷してメモリーから消去します。

- 転送文書印刷

転送したファクスを印刷できるように一時的にメモリーに蓄積するか、転送したら消去するかを設定します。

初期設定：[しない]

- しない

転送したらメモリーからファクスを消去します。

- する

転送後に印刷できるよう、ファクスをメモリーに蓄積します。

- 転送結果通知

転送後に通知メールを送信するかしないかを設定します。通知のあて先は、転送先が Web Image Monitor でどのように設定されているかによって異なります（詳しくは P.128 「ファクスの設定をする」を参照してください）。

初期設定：[無効]

- 無効

転送したらメモリーからファクスを消去します。

- 有効

転送後に印刷できるよう、ファクスをメモリーに蓄積します。

- 手動 POP

手動で POP3 サーバーに接続して、新しいメールがあったら取得します。

POP3 サーバーに接続するには、[はい] を押します。[いいえ] を押すと、POP3 サーバーに接続せずに前のメニューに戻ります。

## 給紙トレイ選択

受信したファクスを印刷するトレイを指定します。ファクスの印刷に使用できる用紙のサイズは、A4、Letter、Legal です。そのサイズ of 用紙がセットされているトレイを選んでください。250 枚増設トレイ（トレイ 2）が装着されていない場合は、[トレイ 1] だけが表示されます。

初期設定：[自動]

- 自動

トレイ 1 とトレイ 2 の両方に同じサイズの用紙がセットされていたら、両方のトレイを使ってファクスを印刷します。システム初期設定の [給紙トレイ優先設

定] で指定されているトレイから印刷が開始され、そのトレイの用紙がなくなると、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。

- トレイ 1
- トレイ 2

### 送信待機文書削除

本機のメモリーに残っている未送信のファクスジョブを消去します。本機は、最大 5 件の未送信ジョブをメモリーに保存できます。

この機能は、選択されたときのみ実行されます。

- 選択した文書を削除  
ファクスジョブを個別に消去するには、消去するジョブを選び、[はい] を押します。[いいえ] を押すと、消去せずに前のメニューに戻ります。
- すべての文書を削除  
すべてのファクスジョブを一度に消去する場合は、[はい] を押します。[いいえ] を押すと、消去せずに前のメニューに戻ります。

### 通信設定

- ECM 送信  
送信中に失われたデータを自動的に再送信します。  
この機能は、インターネットファクスの送信では使用できません。  
初期設定：[する]
  - しない
  - する
- ECM 受信  
送信中に失われたデータを自動的に再受信します。  
この機能は、インターネットファクスの受信では使用できません。  
初期設定：[する]
  - しない
  - する
- トーン検知  
ダイヤル音を検知してから、あて先にダイヤルを開始します。  
初期設定：[する]
  - しない
  - する
- 送信速度  
ファクスモデムの送信速度を指定します。

初期設定：[33.6 Kbps]

- 33.6 Kbps
  - 14.4 Kbps
  - 9.6 Kbps
  - 7.2 Kbps
  - 4.8 Kbps
  - 2.4 Kbps
- 受信速度  
ファクスモデムの受信速度を指定します。

初期設定：[33.6 Kbps]

- 33.6 Kbps
  - 14.4 Kbps
  - 9.6 Kbps
  - 7.2 Kbps
  - 4.8 Kbps
  - 2.4 Kbps
- JBIG  
圧縮率の高い JBIG (Joint Bi-level image experts Group) で送受信できるようにします。MMR/MR/MH 圧縮よりも速く送受信できます。  
この機能を使うときは、[ECM 送信] と [ECM 受信] も有効にしてください。  
この機能は、インターネットファクスの送受信では使用できません。  
初期設定：[有効]
    - 無効
    - 有効

### レポート印刷設定

- 送信結果レポート印刷  
ファクスを送信した後、自動的に送信レポートを印刷します。  
直接送信モードでは、[エラーのみ (画像あり)] か [毎回印刷 (画像あり)] を選択していても、原稿のイメージはレポート上に再現されません。  
PC ファクスの送信でメモリーエラーが発生した場合は、本設定の内容に関わらず、送信レポートが印刷されます。  
送信結果レポートは、A4/Letter の用紙に印刷されます。  
初期設定：[エラーのみ (画像あり)]
  - エラーのみ

送信エラーが発生したら、レポートを印刷します。

- エラーのみ（画像あり）

送信エラーが発生したら、原稿のイメージ付きレポートを印刷します。

- 毎回印刷

ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。

- 毎回印刷（画像あり）

ファクスを送信するたびに、原稿のイメージ付きレポートを印刷します。

- 印刷しない

- 通信管理レポート印刷

ファクスの送受信 50 件ごとに、自動的にレポートを印刷します。

レポートを印刷したあとは、本機の通信履歴はクリアされます。

通信管理レポートは、A4/Letter の用紙に印刷されます。

初期設定：[自動印刷する]

- 自動印刷する
- 自動印刷しない

## ファクスアドレス帳の設定

ファクスのワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルの設定について説明します。

この機能のメインメニューには、以下の項目が含まれます。

ファクスアドレス帳の設定（[初期設定] キーから設定）

ワンタッチキー宛先
ファクス短縮番号宛先

### ファクスのワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録する

このメニューを使って、ファクスのあて先をアドレス帳に登録します。

#### ↓ 補足

- [管理者用設定をロック] で、[アドレス帳] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

#### 目 参照

- ファクスのあて先の登録手順について詳しくは、P.51 「操作部であて先を登録する」を参照してください。
- [管理者用設定をロック] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 ⑧ 「管理者用設定」を参照してください。

### ファクスアドレス帳の設定項目

#### ワンタッチキー宛先

ワンタッチダイヤルのファクス番号とあて先名を設定します。最大 20 件のワンタッチダイヤルを登録できます。

- No.

ワンタッチダイヤルの登録番号を設定します。

- Fax No.

ワンタッチダイヤルのファクス番号を設定します。ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「\*」、「#」、およびスペースで最大 40 桁入力できます。

- 名前

ワンタッチダイヤルのあて先名を設定します。あて先名は半角英数字/半角カナで最大 20 文字入力できます。漢字・ひらがなは入力できません。



## ファクス短縮番号宛先

短縮ダイヤルのファクス番号とあて先名を設定します。最大 200 件の短縮ダイヤルを登録できます。

- No.  
短縮ダイヤルの登録番号を設定します。
- Fax No.  
短縮ダイヤルのファクス番号を設定します。ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「\*」、「#」、およびスペースで最大 40 桁入力できます。
- 名前  
短縮ダイヤルのあて先名を設定します。あて先名は半角英数字/半角カナで最大 20 文字入力できます。漢字・ひらがなは入力できません。

## リスト/レポートの印刷

印刷できるリストやレポートの種類について説明します。

この機能のメインメニューから、以下のリスト/レポートを印刷できます。

リスト/レポート印刷（[初期設定] キーから設定）

ファクス通信管理レポート
ファクス送信/受信待機文書リスト
ワンタッチキー宛先リスト
ファクス短縮番号宛先リスト
特定相手先リスト

### 目 参照

- その他のリスト/レポートについて詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「リスト/レポートの印刷」を参照してください。

## リスト/レポートの種類

### ファクス通信管理レポート

過去 50 件までのファクス送受信のレポートを印刷します。

本機の通信履歴は、印刷後もクリアされずに残ります。

### ファクス送信/受信待機文書リスト

メモリーに残っている印刷待ち、送信待ち、転送待ちのファクスジョブのリストを印刷します。

### ワンタッチキー宛先リスト

スキャナーとファクスのワンタッチダイヤル登録リストを印刷します。

### ファクス短縮番号宛先リスト

短縮ダイヤルの登録リストを印刷します。

- 短縮番号順  
登録番号順に並べた項目のリストを印刷します。
- 名前順  
登録名順に並べた項目のリストを印刷します。

### 特定相手先リスト

登録した特定相手先のリストを印刷します。

### ↓ 補足

- リストやレポートは、システム初期設定の [給紙トレイ優先設定] で [ファクス] に設定されているトレイから印刷されます。
- リストやレポートは、A4/Letter の用紙に印刷されます。印刷の前に、トレイに A4/Letter サイズの用紙をセットしてください。

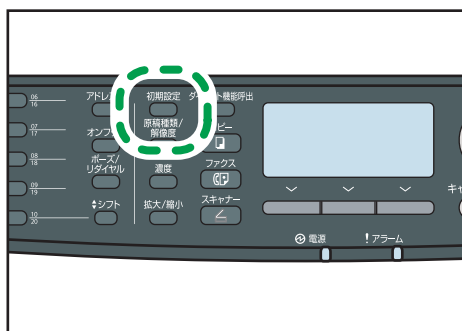
### 目 参照

- [給紙トレイ優先設定] について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 ④ 「システム初期設定」を参照してください。
- 用紙のセット方法について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 ④ 「用紙をセットする」を参照してください。

## ファクス通信管理レポートを印刷する

以下の手順に従って、ファクス通信管理レポートを印刷します。

### 1. [初期設定] キーを押します。



CME023

2. [▲] [▼] キーを押して [リスト/レポート印刷] を選び、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [ファクス通信管理レポート] を選び、[OK] キーを押します。
4. [する] を押します。  
ファクス通信管理レポートが印刷されます。

## ファクス通信管理レポートの見かた

No.

文書の管理番号が記載されます。

## 日付/時間

送信した場合は、送信を開始した日付と時刻が記載されます。

受信した場合は、受信した日付と時刻が記載されます。

## 通信種別

以下の情報が記載されます。

- 送信：ファクスを送信したとき。
- 受信：ファクスを受信したとき。
- PC ファクス：PC ファクスを送信したとき。
- I-Fax 送信：インターネットファクスを送信したとき。
- I-Fax 受信：インターネットファクスを受信したとき。
- 転送：ファクスが転送されたとき。

## 通信時間

送信や受信にかかった通信時間が記載されます。

## 相手先

受信した場合は、相手先が設定している番号か、インターネットファクスの場合はメールアドレスが記載されます。

送信した場合は、送信の方法によって、以下の情報が記載されます。

- 外付け電話機を使った場合：相手先が設定している番号が記載されます。
- ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを使った場合：あて先の名前が登録されていれば、名前が記載されます。登録されていない場合は、番号が記載されます。
- 操作部のテンキーを使った場合：あて先の番号が記載されます。
- PC ファクスの場合：あて先の番号が記載されます。
- インターネットファクスの場合：あて先のメールアドレスが記載されます。

## ページ数

送受信したページ数が記載されます。

## 結果

送受信の結果が記載されます。送受信中にエラーが発生して正常な処理が行われなかった場合は、エラーコードが記載されます。

### 参照

- エラーコードについて詳しくは、P.137 「思い通りにファクス機能が使えないとき」を参照してください。

## ファクス送信/受信待機文書リストの見かた

### No.

文書の管理番号が記載されます。

### 日付/時間

メモリーに蓄積した日付と時刻が記載されます。

### 種類

- リダイヤル：リダイヤルをしていたとき。
- 同報送信：同報送信をしていたとき。
- PC ファクス：PC ファクスを送信していたとき。
- 転送：転送をしていたとき。
- メモリー送信：それ以外の場合。
- 受信：ファクスを受信したとき。

### 相手先

受信した場合は、相手先が設定している番号か、インターネットファクスの場合はメールアドレスが記載されます。

送信した場合は、送信の方法によって、以下の情報が記載されます。

- 外付け電話機を使った場合：相手先が設定している番号が記載されます。
- ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを使った場合：あて先の名前が登録されていれば、名前が記載されます。登録されていない場合は、番号が記載されます。
- 操作部のテンキーを使った場合：あて先の番号が記載されます。
- PC ファクスの場合：あて先の番号が記載されます。
- インターネットファクスの場合：あて先のメールアドレスが記載されます。

### ページ数

送信するファクスのページ数が記載されます。



# 6. Web Image Monitor を使ってファクスの設定をする

Web Image Monitor から直接本機にアクセスし、本機の状態を確認したり、設定を変更したりできます。

## Web Image Monitor を使う

### ★重要

- 一部の項目は、操作部からでも設定できます。

### Web Image Monitor で設定できる項目

ネットワークを介したパソコンの Web Image Monitor 上から、ファクス機能に関連する以下の機能を設定できます。

- ファクス機能の設定をする
- ファクスのあて先を登録する
- 特定相手先を登録する
- POP3 の設定をする
- インターネットファクスの設定をする
- 本機の日付、時刻の設定をする

### 推奨ブラウザ

- Internet Explorer 6 以降
- Firefox 3.0 以降
- Safari 3.0 以降

### ↓補足

- Web Image Monitor から本機を操作する前に、TCP/IP を設定する必要があります。

### 📖参照

- 操作部で行う本機の設定について詳しくは、P.105 「操作部で設定できる機能」を参照してください。
- TCP/IP の設定について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤ 「IP アドレスの設定をする」を参照してください。
- Web Image Monitor で設定できるその他の項目について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑥ 「Web Image Monitor を使って設定する」を参照してください。

## トップページを表示する

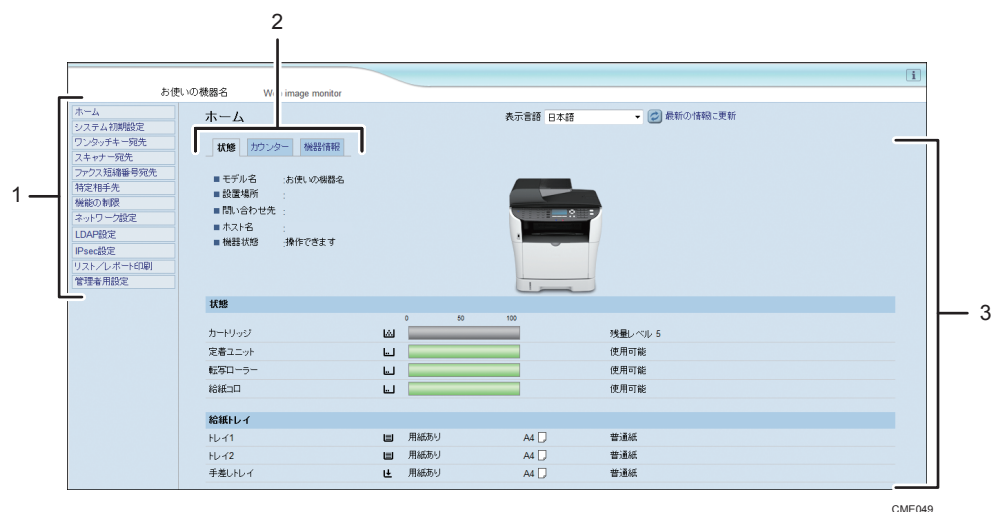
Web Image Monitor を使って本機にアクセスすると、ブラウザにトップページが表示されます。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに “http:// (本機の IP アドレス) /” と入力し、本機にアクセスします。

DNS または WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合は、IP アドレスの代わりにホスト名を入力することができます。

### トップページ

Web Image Monitor のページはフレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。



#### 1. メニューエリア

メニューをクリックすると、メインエリアに設定ページの内容が表示されます。

#### 2. タブエリア

目的の設定や情報を表示するためのタブを表示します。

#### 3. メインエリア

メニューエリアで選択された項目の内容が表示されます。

メインエリアの情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の [最新の情報に更新] をクリックしてください。Web ブラウザー画面全体を更新したい場合は、ブラウザの [更新] や [再読み込み] をクリックしてください。



## ↓ 補足

- 使用するブラウザのバージョンが推奨するバージョンより低い場合や、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- ブラウザーの [戻る] で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの [更新] や [再読み込み] をクリックしてください。

## ファクスの設定をする

[システム初期設定] をクリックし、[ファクス] タブをクリックして、ファクスの設定をするページを表示します。

The screenshot shows the 'System Initial Settings' (システム初期設定) interface. The 'Fax' (ファクス) tab is selected. The settings are organized into several sections:

- 給紙トレイ選択 (Paper Tray Selection):** Includes a dropdown menu for '給紙トレイ選択' (Paper Tray Selection) set to 'トレイ1' (Tray 1).
- ファクス番号確認 (Fax Number Confirmation):** Includes a dropdown menu for 'ファクス番号確認' (Fax Number Confirmation) set to '強制' (Mandatory).
- ファクス受信文書処理 (Fax Received Document Processing):**
  - 受信文書処理 (Received Document Processing): Radio buttons for '印刷する' (Print) and '転送' (Forward).
  - 自動印刷 (Automatic Printing): Radio buttons for '適用する' (Apply) and '適用しない' (Do not apply).
  - 転送文書印刷 (Forward Document Printing): Radio buttons for '適用する' (Apply) and '適用しない' (Do not apply).
  - 転送結果通知 (Forward Result Notification): Radio buttons for '適用する' (Apply) and '適用しない' (Do not apply).
  - 転送先 (Forward Destination): Includes a text input field for 'メールアドレス' (Email Address) and a dropdown for 'スキューン優先' (Skew Priority).
  - 転送回数 (回) (Number of Copies): Input field set to '145' (range: 1-255).
  - 転送時間 (分) (Transfer Time): Input field set to '30' (range: 1-255).
- 迷惑ファクス防止設定 (Spam Fax Prevention Settings):**
  - 迷惑ファクス防止設定 (Spam Fax Prevention): Radio buttons for '適用する' (Apply) and '適用しない' (Do not apply).
  - 受信条件 (Reception Conditions): Radio buttons for '特定相手先' (Specific Destination) and '特定相手先以外' (Except Specific Destination).

At the bottom, there is a note: '管理者パスワードを入力してください。' (Please enter the administrator password.) and buttons for 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

6

### 給紙トレイ選択

項目	説明
給紙トレイ選択	<p>受信したファクスを印刷するトレイを次の中から選びます： [自動]、[トレイ 1]、[トレイ 2]</p> <p>ファクスの印刷に使用できる用紙のサイズは、A4、Letter、Legal です。そのサイズの用紙がセットされているトレイを選んでください。</p> <p>[自動] を選ぶと、トレイ 1 とトレイ 2 の両方に同じサイズの用紙がセットされていたら、両方のトレイを使ってファクスを印刷します。[優先トレイ] ページの [ファクス] で指定されたトレイから印刷が開始され、そのトレイの用紙がなくなると、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。250 枚増設トレイ (トレイ 2) が装着されていない場合は、[トレイ 1] だけが表示されます。</p>

### ファクス番号確認

項目	説明
ファクス番号確認	<p>操作部のテンキーで相手先のファクス番号を入力したとき、確認のための再入力を要求するかしないかを設定します。この設定は、[管理者] ページでパスワードが設定されているときに表示されます。</p>



## ファクス受信文書処理

項目	説明
受信文書処理	受信したファクスを印刷するためにメモリーに蓄積するか、[転送先] で設定されたあて先に転送するかを設定します。
自動印刷	メモリーに蓄積したファクスを自動的に印刷するか手動で印刷するかを設定します。
転送文書印刷	転送したファクスを印刷できるようにメモリーに蓄積するか、転送したら消去するかを設定します。
転送結果通知	転送後に通知メールを送信するかどうかを設定します。通知のあて先は、[転送先] の設定によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [メールアドレス] で指定した場合 [管理者] ページの [管理者メールアドレス] で設定された管理者メールアドレスに通知します。</li> <li>• [スキャナー宛先] で指定した場合 選択したスキャナーのあて先で設定されている通知先に通知します。</li> </ul> 通知先が設定されていない場合は、この設定を有効にしても、通知は送信されません。
転送先	転送先を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [メールアドレス] 転送先のアドレスを入力します。最大 64 文字まで入力できます。</li> <li>• [スキャナー宛先] 転送をスキャナーのあて先から選択します。</li> </ul>
転送回数 (回)	転送が成功するまで繰り返す回数を指定します (1~255 回)。
転送間隔 (分)	転送の間隔を指定します (1~255 分)。

## 迷惑ファクス防止設定

項目	説明
迷惑ファクス防止設定	特定相手先として登録した相手先からのファクスを制限 (受信か拒否) します。間違いファクスやいたずらファクスで用紙をむだに使うことを防止したいときに設定します。特定相手先は、[特定相手先] ページで登録できます。
受信条件	特定相手先からのファクスを受信するか拒否するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [特定相手先] 特定相手先からのファクスだけを受信し、それ以外の相手先からのファクスを拒否します。</li> <li>• [特定相手先以外] 特定相手先からのファクスを拒否し、それ以外の相手先からのファクスだけを受信します。</li> </ul>

 参照

- 優先トレイの設定について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「優先トレイを指定する」を参照してください。
- 管理者用のメールアドレスとパスワードについて詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』 「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。
- 特定相手先の登録について詳しくは、P.84 「特定相手先を登録する」を参照してください。

## あて先を登録する

Web Image Monitor を使って、ファクスのあて先を登録できます。アドレス帳には、最大 220 件登録できます（ワンタッチダイヤルで最大 20 件、短縮ダイヤルで最大 200 件）。

### 参照

- Web ブラウザーを使用したファクスのあて先登録について詳しくは、P.55 「Web Image Monitor であて先を登録する」を参照してください。

## 特定相手先を登録する

Web Image Monitor を使って、ファクスの特定相手先を登録できます。

最大 30 件の特定相手先を登録できます。

### 目 参照

- 特定相手先の登録について詳しくは、P.84 「特定相手先を登録する」を参照してください。

# POP3 の設定をする

[ネットワーク設定] をクリックし、[POP3] タブをクリックして、POP3 の設定をするページを表示します。

## POP3 設定

項目	説明
POP3 サーバー	メール受信用の POP3 サーバーの IP アドレスかホスト名を入力します。 ここで指定した POP3 サーバーは [POP before SMTP] で使用されます。最大 64 文字入力できます。
ユーザーアカウント	POP3 サーバーにログインする際のユーザー名を入力します。最大 32 文字入力できます。 ここでメールアドレスを入力すると、インターネットファクス受信用のアドレスとして使用されます。
ユーザーパスワード	POP3 サーバーにログインする際のパスワードを入力します。最大 32 文字入力できます。
認証	認証方法を以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [なし] パスワードは暗号化されません。</li> <li>• [APOP 認証] パスワードは暗号化されます。</li> <li>• [自動] POP3 サーバーの設定により、パスワードは暗号化される場合とされない場合があります。</li> </ul>

## インターネットファクスの設定をする

[ネットワーク設定] をクリックし、[インターネットファクス] タブをクリックして、インターネットファクスの設定をするページを表示します。



### インターネットファクス設定

項目	説明
インターネットファクス送信	インターネットファクス機能を有効にするか無効にするかを設定します。
エラー通知メール	インターネットファクスの受信に失敗したときに、送信者に対してエラー通知メールを送るかどうかを設定します。 通知メールには、[DNS] ページで設定されたホスト名、機器のモデル名、[管理者] ページで設定されたメールアドレスが記載されます。
システム定型文を挿入	インターネットファクスの送信時に、システム定型文を挿入するかどうかを設定します。 メールには、[DNS] ページで設定されたホスト名、機器のモデル名、[管理者] ページで設定されたメールアドレスが記載されます。
自動POP	自動的にPOP3サーバーに接続して新しいメールを取得するかどうかを設定します。 この設定を有効にすると、[POP間隔(分)] で設定された間隔に従って、自動的に接続します。
POPサーバー：メール受信設定	取得したメールをPOP3サーバーに残すか削除するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[しない] メールを取得したらサーバーから削除します。</li> <li>[メールを保存] 取得したメールをサーバーに残します。</li> <li>[エラー情報のみ保存] 正常に取得したメールだけをサーバーから削除します。</li> </ul>
POP間隔(分)	POP3サーバーへの自動接続の間隔を指定します(2~1440分)。



**参照**

- DNS の設定について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑥「DNS の設定をする」を参照してください。
- 管理者用の設定について詳しくは、『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑥「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。

## 日時を設定する

[管理者用設定] をクリックし、[年月日/時刻設定] ページを表示します。

### 年月日設定

項目	説明
年	現在の年を入力します (2000～2099)。
月	現在の月を入力します (1～12)。
日	現在の日を入力します (1～31)。
日付形式	日付の形式を [MM/DD/YYYY]、[YYYY/MM/DD]、[DD/MM/YYYY] から選びます。

### 時刻設定

項目	説明
時刻形式	12 時間形式または 24 時間形式を選びます。
時刻 (AM/PM)	12 時間形式の場合、AM または PM を選びます。
時 (0-23)	24 時間形式の場合、現在の時を入力します (0～23)。
時 (1-12)	12 時間形式の場合、現在の時を入力します (1～12)。
分 (0-59)	現在の分を入力します (0～59)。

# 7. 困ったときには



困ったときの対処方法について説明します。

## 思い通りにファクス機能が使えないとき

思い通りにファクス機能が使えないときの原因と対処方法について説明します。

### ファクス通信管理レポート/送信結果レポートにエラーコードが記載された場合

ファクスの送受信中にエラーが発生して正常な処理が行われなかった場合は、ファクス通信管理レポートや送信結果レポートの「結果」欄にエラーコードが記載されます。エラーコードを確認して、対処してください。

エラーコード	対処方法
100011	直接送信モードでファクスを送っている途中で、ADFの内部に原稿がつまりました。 <ul style="list-style-type: none"><li>• つまった原稿を取り除いて、セットしなおしてください。『クイックガイド』「ADFから紙づまりを取り除く」を参照してください。</li><li>• 使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』「原稿をセットする」を参照してください。</li></ul>
100021	回線が正しく接続されませんでした。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。</li><li>• 本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができない場合は、電話会社に連絡してください。</li><li>• それでも同じ問題が何度も発生する場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。</li></ul>

エラーコード	対処方法
100022~100023	<p>ファクスの相手先が応答しませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤルした番号が正しいか確認してください。</li> <li>ダイヤル先がファクス機であることを確認してください。</li> <li>回線が通話中でないことを確認してください。</li> <li>あて先番号の間にポーズを入れてください。市外局番号の後で [ポーズ/リダイヤル] キーを押してください。</li> <li>[管理者用設定] の [内線/外線選択] が、お使いの電話回線に合った設定になっていることを確認してください。『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「管理者用設定」を参照してください。</li> </ul>
100032~100084	<p>ファクスの送信中にエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。</li> <li>本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができない場合は、電話会社に連絡してください。</li> <li>それでも同じ問題が何度も発生する場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。</li> </ul>
200014	<p>受信したファクスを一時的に印刷できない状態になっているか、送られて来ているファクスのサイズが大きすぎるため、メモリーが一杯になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トレイの用紙がなくなっている場合は、用紙を補給してください。『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「用紙をセットする」を参照してください。</li> <li>トレイに A4/Letter/Legal サイズ以外の用紙がセットされている場合は、A4/Letter/Legal サイズの用紙をセットして、[システム初期設定] の用紙サイズ設定を変更してください。</li> <li>本機のカバーやトレイが開いている場合は、開いているカバーやトレイを閉じてください。</li> <li>紙づまりが起きている場合は、つまった用紙を取り除いてください。『クイックガイド』⑥「紙づまりを取り除く」を参照してください。</li> <li>トナーが空になっている場合は、トナーを交換してください。『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。</li> <li>送られて来ているファクスのサイズが大きすぎます。送信者に連絡して、一度に送るページを少なくしてもらるか、解像度を低く設定して送り直してもらってください。</li> </ul>

エラーコード	対処方法
200032~200084	<p>ファクスの受信中にエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。</li> <li>本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができない場合は、電話会社に連絡してください。</li> <li>それでも同じ問題が何度も発生する場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。</li> </ul>
300011	<p>インターネットファクスの送信中にサーバーへの接続に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークのケーブルがきちんと接続されていることを確認して下さい。</li> <li>IP アドレス、SMTP、DNS などのネットワーク設定が正しく行われていることを確認して下さい（2 バイト文字が使用されていないことなど）。詳しくは、『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「ネットワークの設定をする」を参照してください。</li> </ul>
300012	<p>インターネットファクスの送信中にメールの送信に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メールのヘッダーが不正です。IP アドレス、SMTP、DNS などのネットワーク設定が正しく行われていることを確認して下さい（2 バイト文字が使用されていないことなど）。詳しくは、『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「ネットワークの設定をする」を参照してください。</li> </ul>
300013	<p>インターネットファクスの送信中にメールの送信に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メールのパートヘッダーが不正です。IP アドレス、SMTP、DNS などのネットワーク設定が正しく行われていることを確認して下さい（2 バイト文字が使用されていないことなど）。詳しくは、『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「ネットワークの設定をする」を参照してください。</li> </ul>
300014	<p>インターネットファクスの送信中にメールの送信に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>変換された TIFF ファイルが不正です。IP アドレス、SMTP、DNS などのネットワーク設定が正しく行われていることを確認して下さい（2 バイト文字が使用されていないことなど）。詳しくは、『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「ネットワークの設定をする」を参照してください。</li> </ul>

エラーコード	対処方法
300033	インターネットファクスの送信中にメモリーが一杯になりました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ファクスのサイズが大きすぎます。ファクスをいくつかに分けて送信するか、解像度を下げて送信してください。</li> </ul>
400021	インターネットファクスの受信中にサーバーへの接続に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークのケーブルがきちんと接続されていることを確認して下さい。</li> <li>IP アドレス、POP3、DNS などのネットワーク設定が正しく行われていることを確認して下さい（2 バイト文字が使用されていないことなど）。詳しくは、P.133 「POP3 の設定をする」、『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「ネットワークの設定をする」を参照してください。</li> </ul>
400022	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>POP3 サーバーへの LIST コマンドでエラーが発生しました。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。</li> </ul>
400023	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>メールのヘッダーが不正です。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。</li> </ul>
400024	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>メールのパートヘッダーが不正です。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。</li> <li>メールの Content-Type が不正か、対応していない形式のファイル（PDF や JPEG など）を受信しました。送信者にファイル形式を確認するように連絡してください。</li> </ul>
400025	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>メールのテキストパートが不正です。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。</li> </ul>
400026	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>受信した TIFF ファイルに、400043～400045 で示される以外の原因によるエラーがあります。送信者に TIFF ファイルを確認するように連絡してください。</li> </ul>
400042	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>メールのパートヘッダーが不正です。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。</li> </ul>

エラーコード	対処方法
400043	TIFF ファイルを正常に受信できませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>受信した TIFF ファイルが MH/MR/MMR 以外の圧縮形式で作成されています。送信者に TIFF ファイルを確認するように連絡してください。</li> </ul>
400044	TIFF ファイルを正常に受信できませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>受信した TIFF ファイルが対応していない解像度で作成されているか、幅が A3 または B4 になっています。送信者に TIFF ファイルを確認するように連絡してください。</li> </ul>
400045	TIFF ファイルを正常に受信できませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>受信した TIFF ファイルが TIFF-S/F 以外の形式で作成されています。送信者に TIFF ファイルを確認するように連絡してください。</li> </ul>
400046	インターネットファクスの受信中にメモリーが一杯になりました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ファクスのサイズが大きすぎます。送信者に、ファクスをいくつかに分けて送信するか、解像度を下げて送信するように連絡してください。</li> </ul>

## その他の問題が発生した場合

7

エラーコードが出なくても、思い通りのファクス機能が使えない場合は、以下の対処を行ってください。

状態	対処方法
ファクスの送信ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーコード"100032"～"100084"の対処方法を参照してください。</li> <li>送信待機中のファクスが 5 件あるため、あたらしいファクスを送信できません。待機中のファクスが送信されるか、[送信待機文書削除] で不要なファクスを削除してください。P.110「ファクス機能初期設定」を参照してください。</li> </ul>
ファクスの受信ができない	エラーコード"200032"～"200084"の対処方法を参照してください。

状態	対処方法
送信はできるが受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>トナーがなくなりました。トナーを交換してください。『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。</li> <li>用紙切れなどの理由で印刷できない状態になっています。トレイに用紙をセットしてください。『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「用紙をセットする」を参照してください。</li> <li>ファクスの受信モードがFAX/TEL（手動）モードになっています。手動モードのときは、手動でしかファクスを受信できません。P.75「ファクスを受信する」を参照してください。</li> </ul>
受信した文書が用紙に印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙切れなどの理由で印刷できない状態になっています。トレイに用紙をセットしてください。『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「用紙をセットする」を参照してください。</li> <li>用紙が適切ではありません。適切なサイズの内紙をセットしてください。</li> </ul>
黒すじ、斑点や汚れのあるファクスが送信される	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿ガラス、またはADFが汚れています。『操作ガイド&lt;コピー/プリンター/スキャナー機能編&gt;』④「本機を清掃する」を参照してください。</li> <li>原稿を原稿ガラスに置く前に、インクや修正液が乾いているか確認してください。</li> </ul>
白紙で送信される	原稿の裏と表が反対にセットされています。正しくセットしなおしてください。『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「原稿をセットする」を参照してください。
相手に届いたファクスの背景に汚れがある、または裏面のイメージが透けて見える	濃度が濃く設定されています。濃度を調節してください。P.71「濃度を調整する」を参照してください。
相手に届いたファクスが明るすぎる	温度が低い環境で本機を使用しているため、画像が鮮明に読み取れませんでした。[読取ウォームアップ時間]を[長い]に設定すると、読み取りの品質を改善できる場合があります。『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「システム初期設定」を参照してください。
ファクスを送信しようとしてもつながらない	エラーコード"100022"~"100023"の対処方法を参照してください。



# 8. 付録

## ファクス機能仕様

ここでは、ファクス機能の仕様についてまとめています。

### ファクス送受信

規格	G3 規格
メモリー代行受信枚数	約 100 ページ*1
適用回線	<ul style="list-style-type: none"><li>• 公衆交換電話網 (PSTN)</li><li>• 構内交換機 (PBX)</li></ul>
読み取り走査線密度	8 dots/mm×3.85 本/mm (200×100 dpi) 8 dots/mm×7.7 本/mm (200×200 dpi)
伝送時間	3 秒台 (8 dots/mm×3.85 本/mm、33.6 kbps、MMR、ITU-T#1 chart)
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	33.6 kbps～2400 bps (オートシフトダウン方式)
ワンタッチダイヤル	20 件
短縮ダイヤル	200 件
届出番号 (識別番号)	000223 (000223AD11)

\*1 プリンターメモリーのうち、最大 2MB まで占有。ITU-T No.1 チャート、線密度 8 ドット/mm×3.85 本/mm 時。

### インターネットファクス送受信

インターフェース	イーサネット (10BASE-T、100BASE-TX)
伝送機能	電子メール
伝送制御手順	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電子メール送信 SMTP 手順、TCP/IP 通信</li><li>• 電子メール受信 POP3 手順、TCP/IP 通信</li></ul>
読み取り走査線密度	8 dots/mm×3.85 本/mm (200×100 dpi) 8 dots/mm×7.7 本/mm (200×200 dpi)

電子メール形式	シングル/マルチパート、MIME 変換 添付ファイル形式 (送信) : TIFF-S (MH 圧縮) 添付ファイル形式 (受信) : TIFF-S (MH 圧縮) / TIFF-F (MH/MR/ MMR 圧縮)
認証方法	SMTP-AUTH、POP before SMTP、A-POP
原稿サイズ	A4 (長さ 356 mm まで)
相手先機器仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝送制御手順 送信 : SMTP 手順、TCP/IP 通信 受信 : POP3 手順、TCP/IP 通信</li> <li>• 電子メール形式 形式 : MIME、Base64 Content-Type : Image/tiff、Multipart/mixed [text/plain, Image/tiff] (添付ファイル形式)</li> <li>• データフォーマット Profile : TIFF-S 符号化方式 : MH 原稿サイズ : A4 解像度 (dpi) : 200×100、200×200</li> </ul>

## FASEC1 について



FASEC とは、情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)がファクス通信のセキュリティー向上を目指して制定したガイドラインの呼称です。

FASEC のロゴマークは、このガイドラインに準拠したファクス・複合機に使用されます。

本機は、ファクスのセキュリティーに関するガイドラインである FASEC 1 に適合したファクスセキュリティー機能を搭載しています。

### 宛先を繰り返し入力する機能

誤送信を防ぐため、ファクス番号の入力を二度繰り返して確認できます。一度目と二度目の入力番号が同じ場合のみ送信され、異なる場合は送信されません。

### ダイヤルトーン検出機能

発呼時にダイヤルトーンを検出してから送信され、検出しなければ送信されません。

### 蓄積受信文書を確認/印刷する機能

受信したファクス文書をハードディスクまたはメモリーに蓄積しておき、必要に応じて印刷して確認できます。

### 送信結果を確認する機能

ファクスの送信結果をレポートで確認できます。

## 商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer 6 の正式名称は Microsoft® Internet Explorer® 6 です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Windows オペレーションシステムの正式名称は以下のとおりです。

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。
  - Microsoft® Windows® XP Professional
  - Microsoft® Windows® XP Home Edition
  - Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition
- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
  - Microsoft® Windows Vista® Ultimate
  - Microsoft® Windows Vista® Business
  - Microsoft® Windows Vista® Home Premium
  - Microsoft® Windows Vista® Home Basic
  - Microsoft® Windows Vista® Enterprise
- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。
  - Microsoft® Windows® 7 Starter
  - Microsoft® Windows® 7 Home Premium
  - Microsoft® Windows® 7 Professional
  - Microsoft® Windows® 7 Ultimate
  - Microsoft® Windows® 7 Enterprise
- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
  - Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
  - Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
  - Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition
  - Microsoft® Windows Server® 2003 Datacenter Edition
- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter

Microsoft® Windows Server® 2008 for Itanium-based Systems

Microsoft® Windows® Web Server 2008

Microsoft® Windows® HPC Server 2008

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 for Itanium-based Systems

Microsoft® Windows® Web Server 2008 R2

Microsoft® Windows® HPC Server 2008 R2

# 索引

## アルファベット

ADSL 環境.....	26
FASEC1 について.....	144
FAX/TEL (自動) モード.....	76
FAX/TEL (手動) モード.....	75
IP アドレスについて.....	11
ISDN 環境.....	27
LDAP アドレス検索.....	66
OK キー.....	18
PC ファクス.....	14, 97
PC ファクスドライバー.....	41, 42
POP3.....	133
TCP/IP ポート.....	41
USB ポート.....	42
Web Image Monitor.....	55, 125, 126

## あ

あて先の削除.....	54, 57, 93
あて先の指定.....	63, 66
あて先の修正.....	53, 56, 92
あて先の登録.....	51, 55, 90, 131
アドレス帳.....	118
アドレス帳 (PC ファクス).....	89
アドレス帳キー.....	18
アラームランプ.....	18
インターネットファクス.....	16, 59, 78, 134, 143
インポート.....	94
エクスポート.....	94
エラーコード.....	137
オプション.....	44
おもなオプションと略称.....	11
オンフックキー.....	18, 69
オンフックダイヤル.....	69

## か

回線種別.....	22, 30
外線発信番号.....	34
解像度.....	72, 107
拡大/縮小キー.....	18
各部の名称.....	18
画面.....	18
基本的な使いかた.....	60, 97
キャンセルキー.....	18

給紙トレイ選択.....	111, 128
クリア/ストップキー.....	18
グループ (PC ファクス).....	92
グループの削除.....	93
グループの修正.....	93
原稿.....	73, 107
原稿種類/解像度キー.....	18
公衆交換電話網.....	26, 32
構内交換機.....	26, 32
コピーキー.....	18
困ったときには.....	137, 141

## さ

時刻の設定.....	35, 136
自動リダイヤル.....	107
シフトキー.....	18
受信設定.....	111
受信文書印刷.....	82
受信モード.....	23, 37
仕様.....	143
使用説明書一覧表.....	10
使用説明書について.....	9
使用説明書の分冊構成.....	9
商標.....	145
初期設定キー.....	18
スキャナーキー.....	18
スクロールキー.....	18
スタートキー.....	18
設定項目の確認.....	24
選択キー.....	18
操作部.....	18
操作部で設定する.....	105
送信結果レポート.....	137
送信設定.....	107
送信設定 (PC ファクス).....	103
送信待機文書削除.....	111
送信のキャンセル.....	62, 99
送信モード.....	58
送付状 (PC ファクス).....	100
外付け電話機.....	14, 26, 37

## た

ダイレクト機能呼出キー.....	18
正しくお使いいただくために.....	7

短縮ダイヤル	64, 118
直接送信	58, 107
通信設定	111
テンキー	18
電源断レポート	87
電源ランプ	18
電話回線	26
電話/ファクス切り替え	77
同報送信	67
特定相手先	84, 85, 132
特定相手先リスト	120

## な

内線電話	29
日時の設定	35, 136
年月日設定	136
濃度	71, 107
濃度キー	18

## は

はじめに	7
はじめにお読みください	7
発信元情報	39
発信元情報印字	107
ハンドセット	44, 46
ひかり電話	28
日付の設定	35, 136
ファクス一時蓄積	81
ファクスキー	18, 49
ファクス機能	13, 49
ファクス自動受信	75, 76, 77
ファクス受信	75
ファクス受信/代行受信ランプ	18
ファクス受信文書処理	128
ファクス手動受信	75
ファクス初期設定	110, 111
ファクス設定	128
ファクス設定の流れ	21
ファクス専用モード	75
ファクス送信	58
ファクス送信/受信待機文書リスト	120, 123
ファクス送信の設定	106
ファクス短縮番号宛先	118
ファクス短縮番号宛先リスト	120

ファクス通信管理レポート	120, 121, 137
ファクス転送	15, 79
ファクス/電話切り替え	77
ファクス番号確認	128
ファクスモード	49
ファクス/留守番 TEL モード	77
ファクスを使う前に	21
複製、印刷が禁止されているもの	7
付録	143
ポーズ時間	107
ポーズ/リダイヤルキー	18, 68
本機の番号	39
本機の名称	39
本書についてのご注意	11

## ま

マークについて	10
迷惑ファクス防止設定	84, 85, 128
メモリー送信	58

## や

やりたいこと目次	13
読み取り設定	71

## ら

リサイクル部品について	7
リスト	120, 121
リダイヤル	68
留守番電話	37
レポート	120, 121
レポート印刷設定	111

## わ

ワンタッチキー	18, 64
ワンタッチキー宛先	118
ワンタッチキー宛先リスト	120
ワンタッチダイヤル	118



## 株式会社リコー

東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

## 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOHのホームページからもご購入できます。

<http://www.netricoh.com/>

## 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介します。

<http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html>

## 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

# 050-3786-8111

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0918をご利用ください。

- 受付時間：平日（月～金）9時～12時、13時～17時（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
  - 050ビジネスダイヤルは、一部のIP電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
  - お問い合わせの際に機番を確認させていただく場合があります。
- ※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。
- ※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

## 最新ドライバーおよびユーティリティ情報

最新版のドライバーおよびユーティリティをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- <http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>

リコーは環境安全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

